

MEDIA NAV EVOLUTION

使用時の注意	J. 3
「概要」の項を参照してください	J. 5
概要説明	J. 5
コマンドの説明	J. 8
進む／止まる	J. 16
機能と使用法	J. 17
ボリューム	J. 20
ラジオ/AUX	J. 21
ラジオを聞く	J. 21
外部入力音源	J. 25
音を調整する	J. 28
ビデオ	J. 30
ナビゲーション	J. 32
ナビゲーションシステム	J. 32
地図を読み込む	J. 33
行き先を入力	J. 36
ガイド	J. 42
地図の設定	J. 48
お気に入りの設定	J. 49
ナビゲーションの設定	J. 51
エコドライブ	J. 55
4x4 情報	J. 56
Bluetooth® デバイス	J. 57
Bluetooth® デバイスのペアリング/ペアリングの解除	J. 57
Bluetooth® デバイスの接続/切断	J. 61
音声認識の使用	J. 63
Android Auto™、CarPlay™	J. 66
電話帳	J. 70
電話をかける、電話を受ける	J. 71

リモートエンジン始動.	J. 74
リアビューカメラ.	J. 77
マルチビューカメラ.	J. 80
システム設定.	J. 82
システムと地図のアップデート.	J. 85
作動異常.	J. 90

使用時の注意 (1/2)

安全を理由にまたは物的損害の恐れについてシステムを使用する場合には、必ず次の注意事項に従う必要があります。あなたがいる国の現行の法律に必ず従わなければいけません。



システムの操作に関する注意事項

- 交通事情が許すときのみスイッチ（前面またはハンドルの）を操作して情報を参照してください。
- 周囲の音が聞こえるように、ボリュームを適度なレベルに調整して下さい。

ナビゲーションに関する注意事項

- ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。
- 地域によっては、「地図」に新しい経路の情報がないことがあります。ご注意下さい。いかなる場合であっても、道路コードと道路標識を、ナビゲーションシステムの指示よりも優先してください。

装置に関する注意事項

- 物的リスク、やけどを避けるために、このシステムを分解したり改造することは絶対にお止め下さい。
- 誤作動のため、また解体する場合には、メーカーの担当者までお問い合わせ下さい。
- プレーヤーに異物を挿入しないで下さい。
- アルコールを含む製品やスプレーはこのエリアに使用しないでください。

電話に関する注意事項

- 一部の法律では、車の中での電話の使用を規制しています。法律では、運転中いかなる状況においてもハンズフリー電話システムを使用することを許可していません。運転者は常に運転に集中しなければいけません。
- 運転中に電話をすることは、不注意や重大な危険の原因となります。これには使用のあらゆる段階（電話番号を押す、通話する、電話帳の連絡先を検索する等）が含まれます。

使用時の注意 (2/2)

この注意事項におけるさまざまなモデルの説明は、本書の構想の際に分かっていた特徴に基づいて作成されました。注意事項には、記載されたモデルに関する存在する機能一式がまとめられています。注意事項のあるなしは、装備のモデル、選択したオプション、製品化する国によって異なります。またモデルイヤーの途中から登場した機能についても本書で取り上げます。このマニュアル上の画面は、契約ではありません。

電話のメーカーとモデルによっては、いくつかの機能が車両のマルチメディアシステムと部分的または完全に互換性がある場合があります。

詳細については、指定の販売店にご相談ください。

概要 (1/3)

はじめに

お車のマルチメディアシステムには、次の機能が装備されています：

- RDS ラジオ、
- DAB ラジオ；
- 補助オーディオソースの管理；
- ハンズフリー電話内蔵；
- 音声認識；
- ナビゲーション支援
- 道路交通情報；
- 特別な注意が必要なエリアの情報；
- パーキングアシスト（リアビューカメラまたはマルチビューカメラ）。
- リモートエンジン始動の設定；
- 車両の傾き情報（4×4 情報）。
- 燃費を最適化させるための、走行スタイルについての情報と走行のアドバイス。

ラジオの機能

マルチメディアシステムを使用して、FM（周波数変調）、DAB（デジタルオーディオ）、AM（振幅変調）ラジオ局を聴くことができます。

DAB システムは音声の再生が向上しており、現在のプログラムに関する情報をテキストで表示することができます。

RDS システムは、FM 局が表示用に送信するいくつかの局の名前またはメッセージを表示することができます。

- 一般交通情報（TA）、
- 緊急メッセージ。

外部入力オーディオ機能

パーソナルステレオを車両のスピーカーから直接聴くことができます。お手持ちのデバイスのタイプにより手持ちマイクの接続法が複数考えられます：

- 3.5 mm Jack ソケット；
- USB オーディオ；
- Bluetooth^(R)接続。

互換性のあるデバイスの詳細については、メーカーの代理店に問い合わせるか、利用が可能ならばメーカーのサイトを参照してください。

概要 (2/3)

ハンズフリー電話機能

Bluetooth^(R) ハンズフリー電話システムは、電話機を操作しなくても以下の機能を使用できます。

- 電話をかける/受ける/中断する；
- 電話のメモリーから連絡先のリストに問い合わせる；
- システムから発信した履歴を調べる；
- 救援を呼ぶ。

電話機の互換性

一部の電話機は、ハンズフリーシステムとの互換性がありませんので一部の機能が使用できない場合、あるいは最適な音質を保てない場合があります。互換性のある電話の詳細については、メーカーの代理店に問い合わせるか、利用が可能ならばメーカーのサイトを参照してください。

リモートエンジン始動機能

装備されている場合、この機能によりエンジンのリモート始動を設定して、車両の使用開始から最大 24 時間前までの間に室内を温めたり換気したりすることができます。

Driving eco

(利用できるかどうかは車両によって異なります)

「Driving eco」メニューは、走行スタイルを反映した全体的なスコアをリアルタイムで表示します。

ナビゲーションを支援する機能

ナビゲーションシステムは、GPS 信号を受信して、車両の地理的な位置を自動的に計算します。ロードマップを使用してあなたの選択した目的地までの行程を提示します。最後に、画面と音声で道順を順を追って表示します。

交通情報

この機能により、交通情報をリアルタイムで知ることができます。

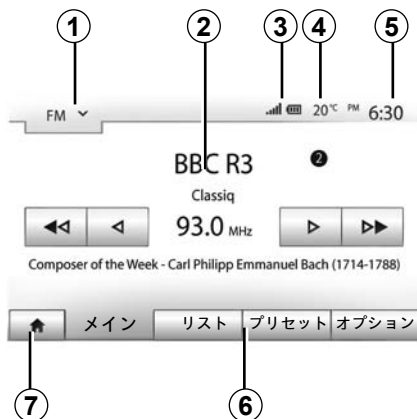
道路安全アラートまたはアラートポイント

このサービスにより、速度超過アラートや道路安全アラートエリアにいるなどのアラートをリアルタイムで受信できます。



ご使用のハンズフリー電話システムは、リスク要因をできるだけ減らす事で通信を容易にすることだけを目的としています。

概要 (3/3)



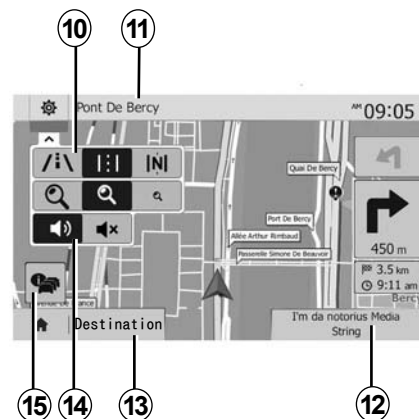
表示

メニュースクリーン

- 1 モード選択エリア。
選択したモードの表示。モード選択エリアに到達したら、ドロップダウンメニューが表示されます。
- 2 要約エリア
メニュー項目と関連情報の内容を表示します。
- 3 電話情報エリア。
Bluetooth^(R) システムが有効な場合、接続されているデバイスの受信状態とバッテリーのレベルが表示されます。



- 4 外気温度。
- 5 時間エリア：
- 6 メニューエリア：
 - モードのサブメニューを表示；
 - 現在のメニューを強調して表示します。
- 7 エリアのホームまたはナビゲーションに戻ります。
現在のモードに応じて、次のエリアが表示されます。
 - 「ホーム」ボタン： ホームメニューに戻ります。
 - 「戻る」ボタン： 前の画面に戻ります。
 - 「フラグ」ボタン： ナビゲーション画面に戻ります。



- 8 モードスタンバイと時計の表示
- 9 リモートエンジンスタート選択エリア。

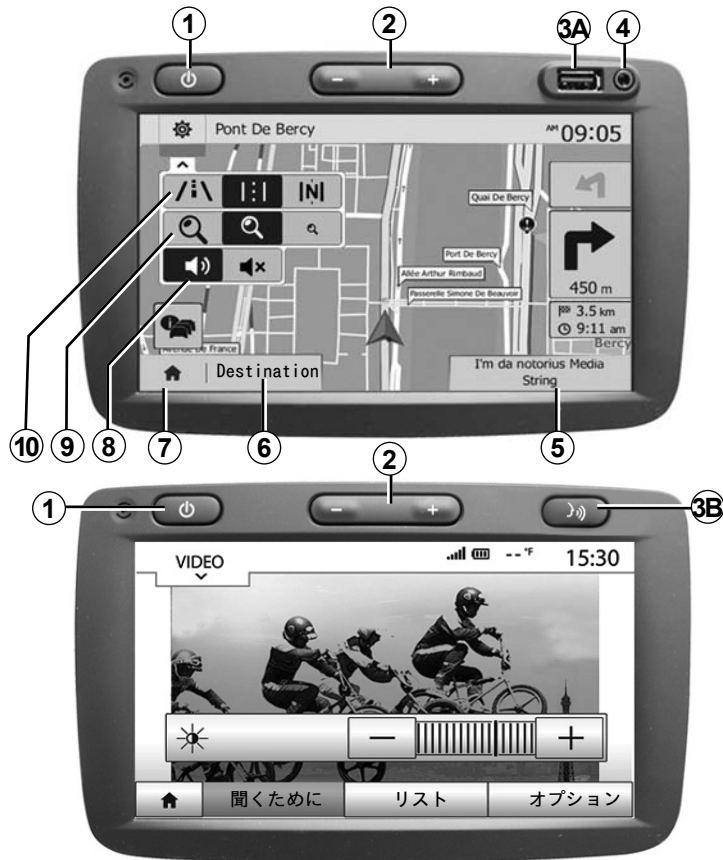
ナビゲーション画面

- 使用可能な場所は、国および / または規制によって異なります。
- 10 地図モード (2D/3D と 2D 北)。
 - 11 ルート上の次の通りの名前。
 - 12 現在のオーディオの情報。
 - 13 ルートと地図の調整オプション。
 - 14 音声ガイド On/Off。
 - 15 交通情報。

コントロールの説明 (1/8)

システムパネル

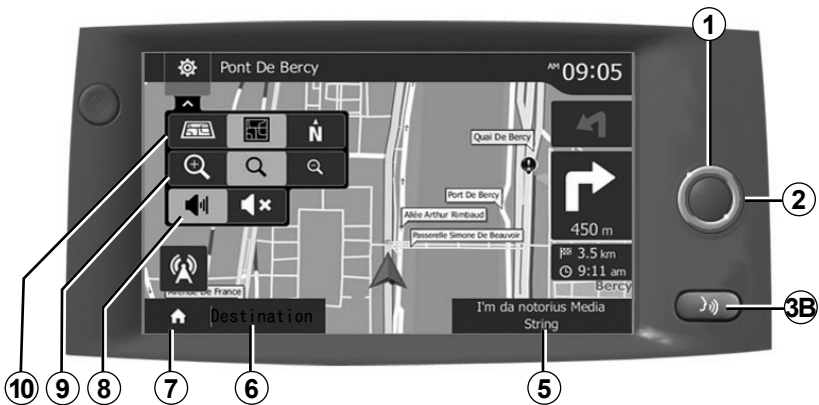
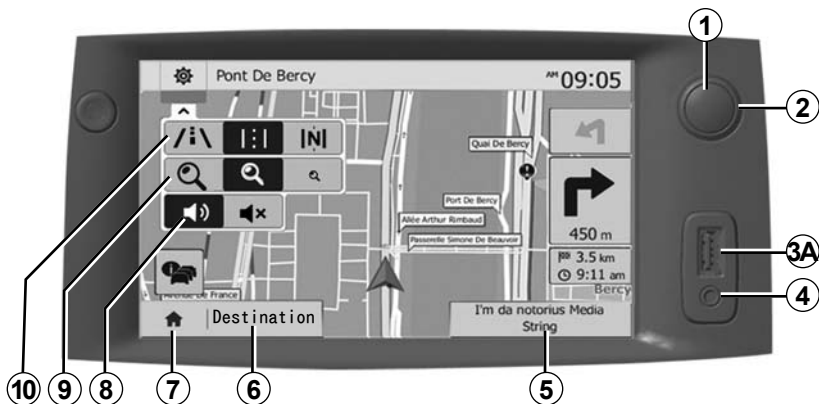
画面の選択するには、画面上の希望する部分を押します。



コントロールの説明 (2/8)

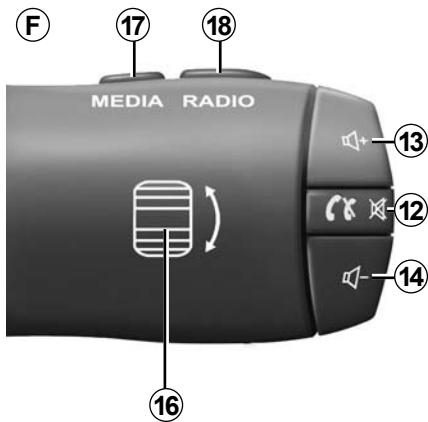
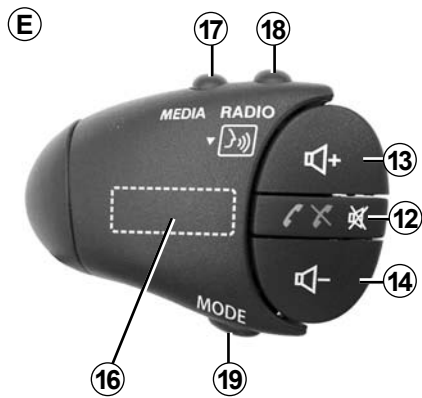
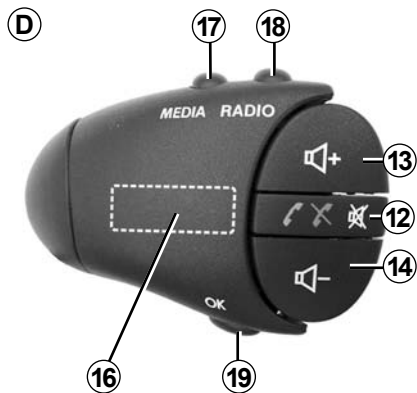
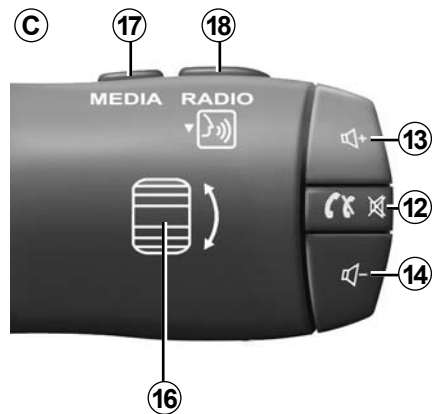
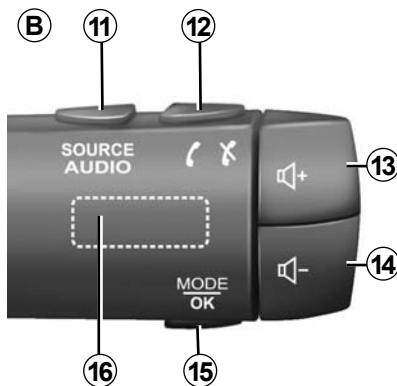
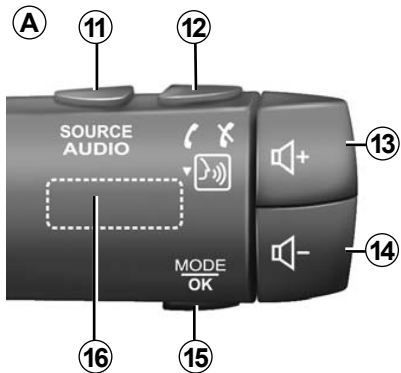
システムパネル

画面の選択するには、画面上の希望する部分を押します。

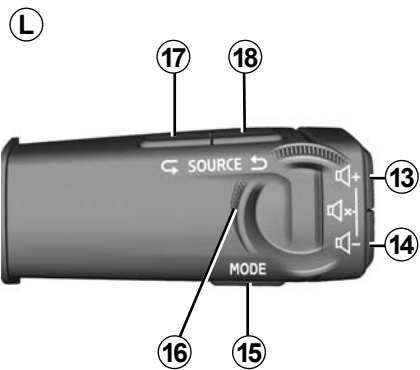
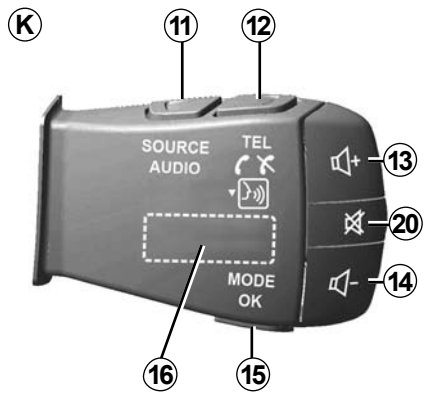
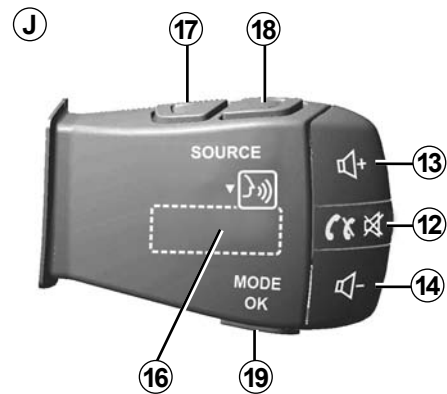
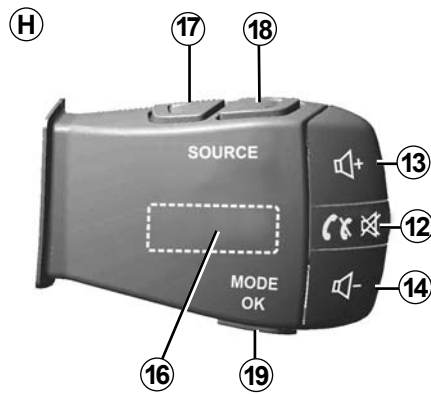
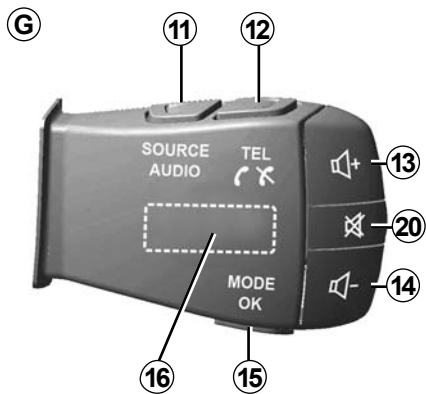


コントロールの説明 (3/8)

ステアリングコラムコントロール

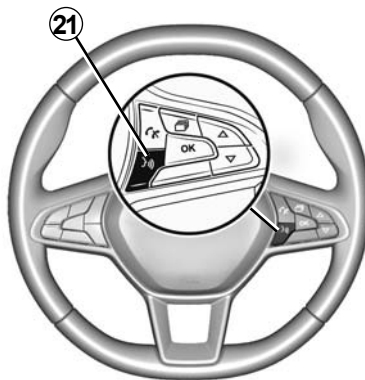
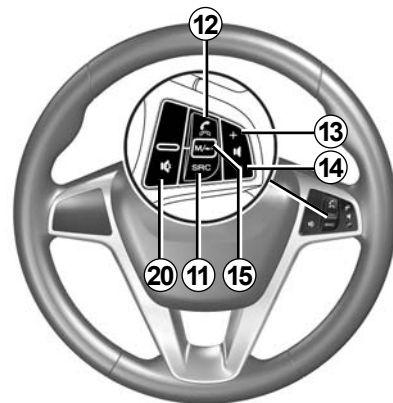
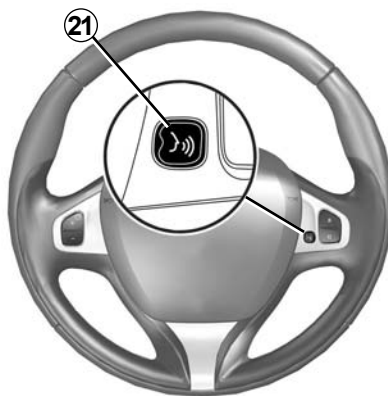
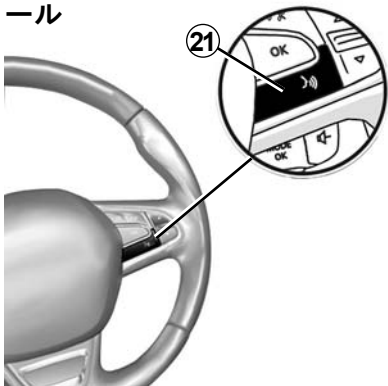


コントロールの説明 (4/8)



コントロールの説明 (5/8)

ステアリングコラムコントロール



コントロールの説明 (6/8)

	機能
1	タップ: スクリーンセーバーの ON / OFF。 長押しする: システムを再起動する。
2, 13, 14	音量を調整します。
3A	接続USB.
3B	スマートフォンの音声認識をオンまたはオフにする (マルチメディアシステムに接続されている場合)。
4	3.5 mm Jack ソケット。
5	現在再生中のメディアにアクセスします (FM / AM / DAB / USB / Bluetooth ^(R) / AUX)。
6	「ナビゲーション」のメニューにアクセスする
7	「案内」メニューにアクセスします。
	電話音声または外部入力音源: ナビゲーション画面 (進行中) に戻るために、または前の画面に戻るために、現在のウィンドウから出ます。
8	音声ガイダンスをオン/オフにします。
9	地図の縮小率を変更します。
10	マップビューモードを変更します (2D/3D/2D 北)。
11	オーディオの音源を選びます (FM / AM / DAB / USB / Bluetooth ^(R) / AUX)。

コントロールの説明 (7/8)

	機能
12	<p>電話を受けるとき：</p> <ul style="list-style-type: none"> - 短く押す：通話に応答する。 - 長押しする：通話を拒否する。 <p>通話中に短く押す：通話を終了。</p> <p>オーディオ音源を聴く：音声をミュート / ミュート解除します MUTE (コントロール C、D、E、F、H、および J のみ)。</p> <p>タップ：「電話」メニューにアクセスします (コントロール A、B、G、および K のみ)。</p> <p>タップ：電話の音声認識をオンまたはオフにする (コントロール A および K のみ)。</p>
13	現在聴いている音源の音量を上げる。
14	現在聴いている音源の音量を下げる。
13+14	サウンドのミュート / ミュート解除 (コントロール A、B および L のみ)。
15, 19	<p>ラジオ：局再生モードの変更 (「メイン」、「リスト」、「プリセット」)。</p> <p>USB / ポータブルデジタルオーディオプレーヤのメディアソース：現在再生中のメディアの再生モードを変更します (「メイン」または「リスト」)。</p>
16	<p>リアダイヤル：</p> <ul style="list-style-type: none"> - ラジオ：ラジオモードの変更 (周波数 / リスト / プリセット)。 - メディア：前 / 次のトラックを再生。 <p>タップ：アクションの確認 (コントロール C のみ)。</p>
17	メディアの変更 (CD、USB、AUX)。

コントロールの説明 (8/8)

	機能
18	押す: ラジオモードの変更 (FM、AM、DAB)。 長押しする: スマートフォンの音声認識をオンまたはオフにする (コントロール C、E、J のみ)。
20	ラジオのミュートの ON/OFF。 オーディオトラックの一時停止 / 再生。 音声認識の音声シンセサイザーを中断します。
21	スマートフォンの音声認識をオンまたはオフにする (マルチメディアシステムに接続されている場合)。

進む, 止まる



作動

イグニッションスイッチをオンにすると、マルチメディアシステムが自動的に作動を開始します。他の場合には、Aのボタンを押すと、マルチメディアシステムが作動します。

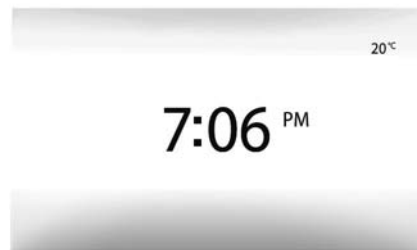
接続が切断された状況では、20分間システムを使用することができます。Aボタンを押すと、さらに約20分間マルチメディアシステムを作動させることができます。



停止

動作中のアプリケーションによっては、イグニッションがオフになってからマルチメディアシステムが更新されるまでに数分かかることがあります。

Aボタンを押し続けて（黒い画面が表示されるまで）、マルチメディアシステムを再起動します。



スクリーンセーバー

スクリーンセーバーモードで、表示画面をオフにすることができます。

このモードでは、ラジオまたはガイドシステムは作動しません。

スタンバイ画面には、時刻と外気温が表示されます。

スクリーンセーバーを作動／解除させるには、Aのボタンを短く押して下さい。

安全上の理由から、車内の温度が低すぎたり高すぎたりすると、マルチメディアシステムは起動しないか、自動的にオフになります。マルチメディアシステムが正常に動作するために、温度がより適切なレベルに戻るまで少し待ちます。

機能と使用法 (1/3)



マルチメディア画面 1

短く押す：

- オプション選択；
 - オプションの実行（メディア再生画面）。
- 「メディア」>「プレーヤ」メニューで、次のボタンを押して次のタイトルに進みます。



長押し：

- アイテムを保存します（ラジオ局など）。
- 「ラジオ」>「メイン」メニューで、プリセット番号を押すと現在視聴中のラジオ局が保存されます。
- 高速スクロール。
- スクロールボタンを下方に長押しすると、スクロール（ページ毎）が加速されます。

- 高速の早送り/巻き戻し（メディア再生が面）。
- 「メディア」>「プレーヤ」メニューで、プリセット番号を押すと現在聴取中のラジオ局が保存されます。

機能と使用法 (2/3)



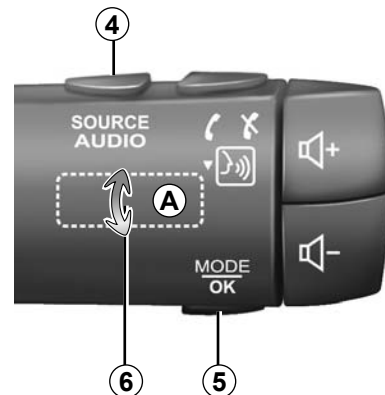
②

「案内」メニューに戻ります。

システムのどこにいても、2 を押したままにするか 3 を短く押すと、「案内」メニューに直接移動します。



③



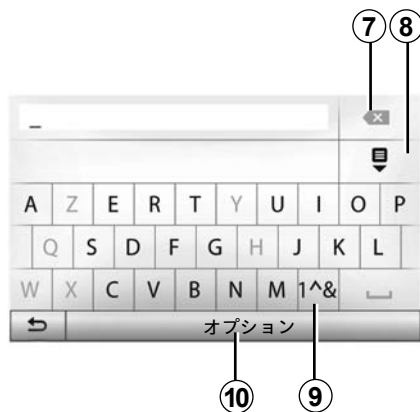
オーディオ：ハンドル下のコマンドを使用して下さい。

ラジオ局選択のモードを変えるには、スイッチ5を押します。

局を変えるにはジョグダイヤル 6 を回します（動作A）。

4 を押してソースを切り替えます。
(USB、AUX、AM、FM、DAB、および Bluetooth^(R))。

機能と使用法 (3/3)



数字または記号を使うには、9 を押します。

10 を押して、キーボード設定を変更します。

英字キーボードを使う

英字キーボードを使う項目入力には、キーボードから文字を選びます。

各文字の入力にあたっては、システムは、操作を容易にするために一部の文字の強調を省略します。

7 を押して、最後に入力した文字を削除します。

8 を押して結果のリストを表示します。

ボリューム

ボリューム

さまざまなメッセージ、ソース、電話の呼び出し音と電話の音声を聞くために、ボリュームを調整して下さい。

- マルチメディアシステムのフロントパネルにある 1 のボタンを回すか押します。
- ステアリングコラムコントロールの 13 または 14 を押す。

この機能を調節するには、「オーディオ調整」の「音声の設定」の情報を参照してください。

お聞きのラジオは、「TA」の交通情報、ニュース速報、警告メッセージ受信時には中断されます。

注：再生中に設定した音量は、次のシステム再起動時には保存されていません。



周囲の音が聞こえるように、ボリュームを適度なレベルに調整して下さい。

ミュート

音を消すには、ステアリングホイールコントロールのボタン 21、マルチメディア画面の 3B、またはステアリングコラムコントロール 12（コントロール C、D、E、F、H、および J のみ）のボタンを押すか、ステアリングコラムコントロール（コントロール A、B、および L のみ）のボタン 13 と 14 を同時に押します。

「ミュート」アイコンは画面の最上部に表示され、音声がおフになっていることを示します。

現在のオーディオ音源を聴き続けるには、ステアリングホイールコントロールのボタン 21、マルチメディア画面の 3B またはステアリングコラムコントロール（コントロール C、D、E、F、H、J のみ）のボタン 12 をタップするか、ステアリングコラムコントロール（コントロール A、B、L のみ）のボタン 13 と 14 を同時に押します。

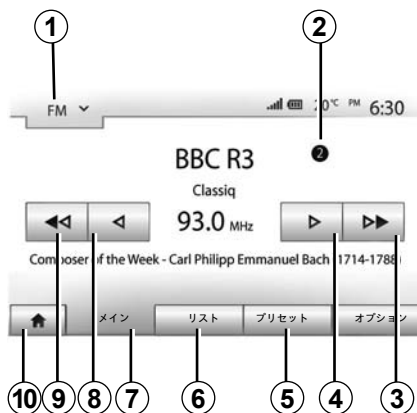
この機能は、ボリュームに関する動作やニュース、道路情報の受信の時には、自動的に解除されます。

速度に応じたボリューム調整

この機能を作動すると、オーディオボリュームとナビゲーションは、車のスピードに応じて変化します。

この機能を作動するまたは調整するには、「オーディオ調整」の章の「速度に応じてボリュームを調整する」の項を参照して下さい。

ラジオを聴く (1/4)



周波数を選択する

周波数帯を選択するには、次の手順を実行します：

- 1 を押します。
- 必要な周波数帯を押して、周波数帯「FM」、「AM」または「DAB」を選択します。

ラジオ局「FM」、「AM」または「DAB」を選択します。

ラジオ局を選択するには、幾つかのモードが有ります。

周波数帯を選択した後に、5、6 または 7 タブを押してモードを選択します。

いくつかの検索方法が用意されています：

- 「メイン」モード (タブ 7)、
- 「リスト」モード (タブ 6)、
- 「プリセット」モード (タブ 5)。

これらのモードは、ステアリングコラムコントロールを使用して変更できます。

注： マーカー 2は、保存されているリスト内の現在聴取中のラジオ局の位置を示します。

「メイン」モード

このモードでは、選択した周波数範囲をスキャンすることで、マニュアルまたは自動で局を検索できます。7 を押して「周波数」モードを選択します。

周波数範囲をスキャンするには、次の手順を実行します：

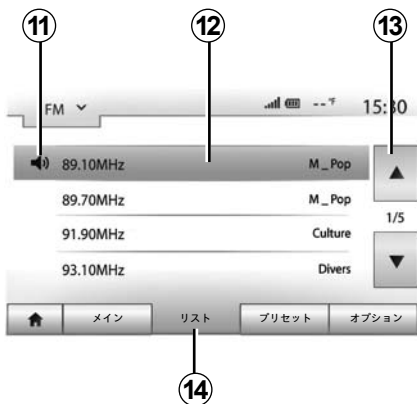
- 4 または 8 を繰り返し押して、マニュアルで周波数を順にスキャンします。
- 3 または 9 を押して、次の局に自動的に移動します。

必要ならば、選択動作が止まる度に同じ操作を繰り返します。

また、次のラジオ局に移動するには、ステアリングコラムコントロールにあるコントロールノブを使用することもできます。

注： ようこそ画面に戻るには、10 ボタンを押します。

ラジオを聴く (2/4)



「リスト」モード

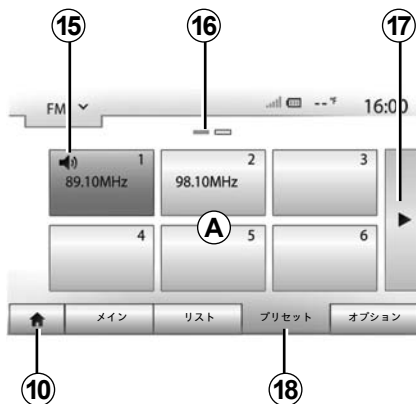
「リスト」モードを選択します (14 を押して)。

この動作モードの機能を使えば、アルファベット順に表示されるリスト (「FM」と「DAB」のみ) から簡単にラジオ局を検索できます。

エリア 12 を押してご希望のラジオ局を選択します。

スイッチ 13 を押すと、スクロールすることができます。

注: 記号 11 は、現在聴いている局を示します。



周波数がRDS システムを使用していないラジオ局の名前は、画面に表示されません。周波数だけが表示され、リストの最後にランクされています。

「プリセット」モード

「プリセット」モードを選択します (18 を押して)。

このモードでは、以前に記憶させたラジオ局 (この項の「ラジオ局を記憶させる」を参照) を必要に応じて呼び出すことができます。

A エリアのボタンの 1 つを押して、保存されている局を選択します。

注: ようこそ画面に戻るには、10 ボタンを押します。

ラジオ局を記憶させる

上記のいずれかの方法を使ってラジオ局を選びます。A エリアのボタンを長押しします。

周波数帯あたり 12 局まで記憶できます。「RDS」機能を使用して地域を変更すると、保存された局は自動的に更新されません。現在再生中の局を再度保管する必要があります。

注: 記号 15 は、現在聴いている局を示します。

マーカー 16 は、このセクションのページ数を示します。

次のページに移動するには、ボタン 17 を押します。

ラジオを聴く (3/4)



ラジオの設定

19を押して設定メニューを表示させて下さい。この機能は、「オン」または「オフ」を押してオン/オフにすることができます（設定メニューは周波数帯によって異なります）。

ご利用頂ける機能は次の通りです：

- 「RDS」、
- 「TA」（交通情報）、
- 「地域」、
- 「ニュース」
- 「AM」、
- 「DLS」；
- 「アナウンス」、
- 「リストの更新」

「RDS」、

「RDS」機能は、現在再生中のラジオ局から送信された情報を受信します。

システムにラジオ局の名前とテキストメッセージが表示され、交通警告またはその他の情報を受信することがあります。

「RDS」機能が作動すると、周波数再調整（AF）が自動的に作動します。

交通情報は、一般的に「RDS」経由で送信されます。

注：すべてのラジオ局がこの機能を提供しているとは限りません。

受信状態が悪いと、時々不要で不快な周波数変化を引き起こす可能性が有ります。そういう場合は、自動周波数再調整を終了させて下さい。

「TA」（交通情報）

この機能が有効な場合、マルチメディアシステムで一部のラジオ局「FM」と「DAB」が送信している交通情報を自動的に検索できます。

注：交通情報の自動受信は、オーディオシステムが「AM」周波数帯に調整されていると無効になります。

交通情報を放送するラジオ局を選択します。他の音源（USB フラッシュドライブ、Bluetooth^(R) など）から音楽を聴く場合、交通アナウンスが受信された場合、システムは自動的にラジオに切り替わります。

交通情報は、音源とは関係なく自動的に優先送信されます。

「オン」を押してこの機能を差動させるか、または「オフ」を押してこの機能を解除します。

ラジオを聴く (4/4)

「地域」

この設定により、特定の地域プログラムの受信が可能になります。この機能は、地域の周波数を使用するラジオの自動周波数再調整 (AF) を一時的に非アクティブにします。

リスナーは、弱信号を受信しても、プログラムを聴くことができます。

注：

- 「地域」設定は、現在再生中のラジオにのみ適用されます。
- 一部のラジオは、地域の周波数で放送します。この場合：
 - 地域 が有効になっている場合：システムは新しいリージョンのトランスミッタに切り替わりませんが、システムは最初の領域のトランスミッタ間で正常に切り替わります。
 - 地域 が無効になっている場合：ブロードキャストプログラムが異なる場合でも、システムは新しいリージョンのトランスミッタに切り替わります。

「ニュース」

この機能が有効になっている場合、一部の「FM」または「DAB」ラジオ局が自動送信している情報をすぐに聴くことができます。

続いて別の音源を選択すると、選択したプログラムのタイプの放送が、他の音源の読み込みを中断します。

「オン」を押してこの機能を差動させるか、または「オフ」を押してこの機能を解除します。

「AM」

「AM」をオンまたはオフにできます。

「オン」を押してこの機能を差動させるか、または「オフ」を押してこの機能を解除します。

「DLS」

「DAB」モードでのみ。

一部のラジオ局は、放送中の番組に関連するテキスト情報（例えば曲のタイトル）を送信しています。

「リストの更新」

最新のリストを入手して局リストを更新するには、「開始」を押します。

注：システムをオンにしたら、すぐに「DAB」リストを更新するようにしてください。

の補助オーディオソース (1/3)

このシステムには、次の2つの種類の補助入力があります。

- 外部オーディオソース用 (MP3 プレーヤー、ポータブルミュージックプレーヤー、USB キー、電話など)。
- Bluetooth® (Bluetooth® オーディオプレーヤー、Bluetooth® 電話)。

ポートの位置を確認するには、「操作の紹介」の章を参照して下さい。

動作および接続の原則

接続には次の2種類があります。

- USB ソケット、
- Jack ソケット。

ポータブルデジタルオーディオプレーヤーを、デバイスタイプに対応するソケットに接続します。

USBまたはジャックを接続すると、システムは自動的に補助ソースを検出します。

注：使用する USB キーは、FAT32 形式でフォーマットされ、32GB の最大容量が必要になります。一部のビデオ形式は、システムに対して互換性がない場合があります。



補助ソースを選択する

入力ソースを選択するには、1 を押します。

入力可能なソースのリストが瞬時に表示されます：

- USB: USB キー、MP3 プレーヤー、電話など、
- オーディオデバイス、
- BT: Bluetooth® デバイス、

- ビデオ: USB フラッシュドライブ (MP4 ファイル)。

- AUX: 3.5 mm ジャックソケット。

ナビゲーションモードまたはラジオを聴いているときに、「案内」、「メディア」の順に押して、補助オーディオソースを選択することができます。

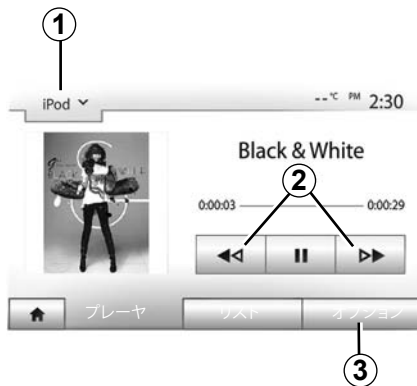
システムは聞いていた最後のオーディオトラックを再開します。



交通事情が可能な場合にオーディオプレーヤーを操作して下さい。

運転中にはオーディオプレーヤーを格納して下さい。(急ブレーキの際に飛び出す恐れがあります)。

の補助オーディオソース (2/3)



オーディオフォーマット

マルチメディアシステムによって MP3 および WMA 形式のみが認識されます。
注：フォーマットと解像度によっては、マルチメディアシステムとの互換性がない場合があります。

速読

進むまたは戻るには、2を押し続けてください。リーディングは、ボタンから指を離れたときに再開されます。

繰り返す

この機能により、1 つまたはすべてのトラックを繰り返すことができます。3、「オフ」、「トラック」、「フォルダ」または「すべて」の順に押します。

シャッフル

この機能を使用すると、ランダムにすべてのトラックを再生することができます。3 をタップし、その後に「オン」か「オフ」をタップします。

補助入力: USB ポート、Bluetooth® ポート

接続: USB およびポータブルデジタルオーディオプレーヤー

デジタルオーディオプレーヤーをケースの USB ポートに接続して下さい。いったんオーディオデジタルオーディオプレーヤーのUSBプラグが接続されると、「USB」メニューが表示されます。ポータブルデジタルオーディオプレーヤーのモデルまたはメニューが表示される場合があります。

注: ポータブルデジタルオーディオプレーヤーの種類によっては、接続できないものもあります。

使用方法

ドロップダウンリスト 1 からポータブルデジタルオーディオプレーヤーを選択し、マルチメディアシステム画面でポータブルデジタルオーディオプレーヤーまたはオーディオトラックを押します。

接続後、モデルによっては、ポータブルデジタルオーディオプレーヤーを直接制御することはできなくなります。オーディオファイルを選択するには、マルチメディアシステムのフロントパネルのボタンを使用します。

USBポートによる充電

お使いのデジタルオーディオプレーヤーの USB コネクタをマルチメディアシステムの USB ソケットに接続すると、使用中 (音楽を聴くなど) に電池の充電や充電量の維持が可能です。

注: デバイスによっては、マルチメディアシステムの USB ポートに接続すると、電池の充電や充電量の維持を行うことができません。

アプリケーションの機能が正常に機能するように、電話メーカーが推奨する USB ケーブルの使用をお勧めします。

補助オーディオソース (3/3)

接続 : Bluetooth^(R)

「Bluetooth^(R) デバイスの接続 / 切断」の項を参照してください。
いったんBluetooth^(R) が接続されると、「BT」のメニューが表示されません。

使用方法

ドロップダウンリスト 1 から「BT」を選択し、マルチメディアシステム画面で再生リストまたは目的のオーディオトラックを押します。

Bluetooth^(R) デバイスのすべてのオーディオトラックは、マルチメディアシステムの画面から直接選択できます。

注 : いったん接続されると、デジタルオーディオプレーヤーを直接操作することはできません。システムの正面ボタンを使用する必要があります。



トラックを選択する

フォルダ内のオーディオトラックを選択するには、「リスト」を押してから、このリストからトラック A を選択します。

フォルダのツリーの前の階層に戻るには、4を押して下さい。

デフォルトでは、アルバムはアルファベット順に分類されています。

デジタルプレーヤーの種類に応じて、フォルダやファイルの絞り込み検索を行うことができます。

注 : 音楽を簡単に検索するには、USB 接続を使用するのが最適です。

補助ポート : ジャック

接続

オーディオプレーヤーのジャックを差し込み口に接続します。

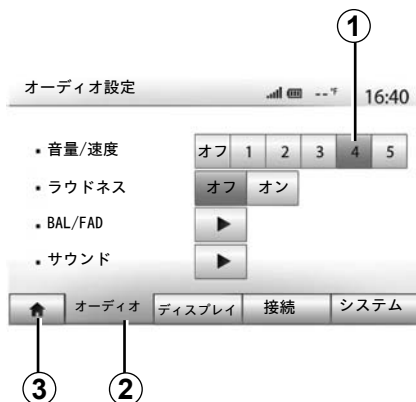
使用方法

「AUX」をドロップダウンリスト 1 から選択し、次にミュージックプレーヤーで希望するトラックを選択します。アーティストやトラック名などの情報は、システムの画面には表示されません。

トラックを選択するには、車を止めてプレーヤーを直接操作する必要があります。

アナログ入力 (AUX) の音質は、通常デジタル入力 (USB、Bluetooth^(R)) の音質より低くなります。

オーディオの調節 (1/2)



「案内」>「地域」を押して、設定メニューを表示します。2 を押してオーディオの調節にアクセスします。

3 を押すと、設定メニューを終了してようこそ画面に戻ることができます。

車速に応じた音量調節（「音量/速度」）

車のスピードが時速40kmを超えると、ボリュームレベルは、元のレベルに比べて高くなります。

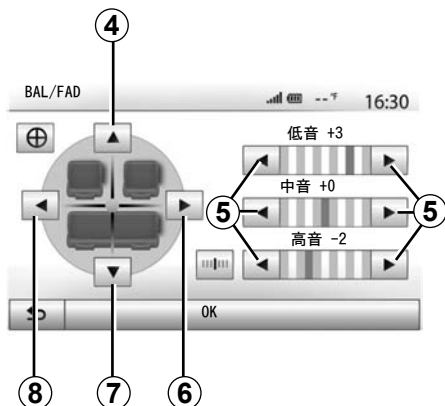
ゾーン 1 のボタンの 1 つを押して、音量と速度の比率を調節します。

「オフ」を押して、この機能を解除できます。

「ラウドネス」

「オン」または「オフ」を押して、バスとトレブルを強調するラウドネス機能を有効 / 無効にします。

オーディオの調節 (2/2)



左/右と前/後のバランス

左右の音響のバランスを調整するには、6 または 8 を押して下さい。前後の音響のバランスを調整するには、4 または 7 を押して下さい。バランスを設定したら、「OK」を押して確定します。

低音、中音、高音

5 矢印を押して、低音域、中音域、高音域を調節します。調節を行ったら、「OK」を押して確定します。



オーディオの設定

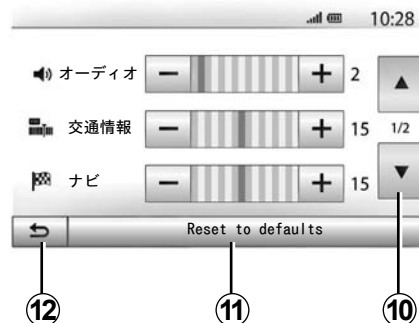
9 を押して、オーディオの設定メニューを表示します。

それぞれのサウンドを独立して調節できます。

- 「オーディオ」、
- 「TA」、
- 「ナビゲーション」、
- 「電話」
- 「着信音」(電話)。

これを行うには、「+」または「-」を押します。

すべてのオーディオの設定をリセットするには、11 を押します。



10 を押すと、次のページに移動しません。

前の画面に戻るには、12を押して下さい。

ビデオ (1/2)



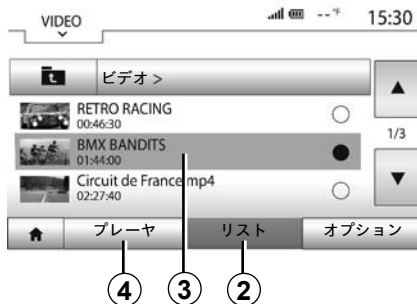
ビデオ

国および / または規制に応じて、システムは USB フラッシュドライブに保存されたビデオファイルを再生することができます。

マルチメディアシステムに USB フラッシュドライブを挿入して下さい。「メディア」メニューから、「ビデオ」モード 1 を選択します。

注意：

- 一部のビデオ形式は、システムに対して互換性がない場合があります。
- 注：使用する USB フラッシュドライブは、FAT32 形式でフォーマットされ、8GB および 32GB の最大容量が必要になります。



- 上記の入力ソースは異なる場合があります。

「リスト」モード

「リスト」タブ 2 を押して、使用可能なビデオを表示します。領域「3」を押して、見たいビデオを選択します。選択したビデオが自動的に再生されます。

「プレーヤ」モード

「プレーヤ」タブ 4 を押して、選択したビデオを表示します。



ビデオの再生中に次のことを実行できます：

- 8 を押して最初からビデオを再起動し、8 をもう一度押して、前のビデオにアクセスします。
- 7 を押して一時停止、
- 6 を押して次のビデオにアクセスする。
- スクロールバー 5 を使用して、すばやく上下に移動します。

ビデオ (2/2)



- 9 を押してビデオを全画面で表示、
- 10 を押して、画面の明るさを調整します。コントロールバーが表示され、調節を行うことができます。このバーの外側の画面にタッチするとコントロールバーが非表示になり、ビデオの再生が継続します。
- 11 を押すと、前のメニューに戻ります。

ビデオの再生は、車両が停止している場合のみ可能です。



「オプション」モード

「オプション」タブ 12 を押すと、次の操作が可能です。

- 再生の設定を調整する。
- ビデオ情報の詳細（タイトル、タイプ、日付など）を表示する。

ナビゲーションシステム

ナビゲーションシステム

使用可能な場所は、国および / または規制によって異なります。ナビゲーションシステムは、次の情報を使用して位置を計算します。

- GPS 受信機の、
- デジタル地図で。

GPS 受信機

ナビゲーションシステムは、地球の周りの軌道にある GPS 衛星（グローバル・ポジショニング・システム）を使用しています。

GPS 受信機は、複数の衛星からの信号を受信します。したがってこのシステムは車の位置を特定することができます。

注意： 長距離を走行せずに移動（フェリー、ピギーバック輸送）した後で、システムが通常の動作を再開するには数分間かかることがあります。

デジタル地図

デジタル地図には、システムに必要な道路地図と都市の地図が含まれています。

「地図」USB フラッシュドライブ

最新版をインストールするには、インターネットに接続されたコンピュータに USB フラッシュドライブを挿入して下さい。「地図のアップデート」の項を参照して下さい。

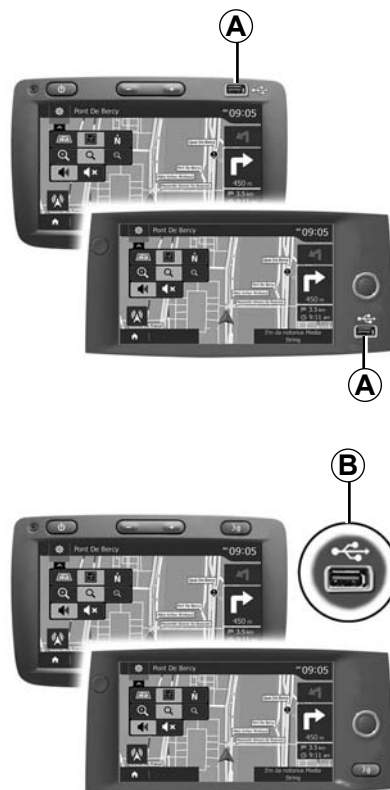
注： USB キーは、システムには含まれていません。

できるだけ最新版をご使用下さい。

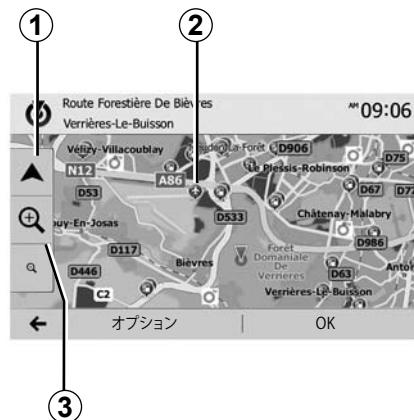
USB キーを挿入する

車両が装備されている場合は、マルチメディアシステムの USB フラッシュドライブをソケット A に挿入します。

お使いの車両にマルチメディアシステムのフロントパネルに USB ソケットが装備されていない場合は、USB フラッシュドライブを車両のソケット B に挿入します。詳細については、取扱説明書を参照してください。



の地図を読み取る(1/3)



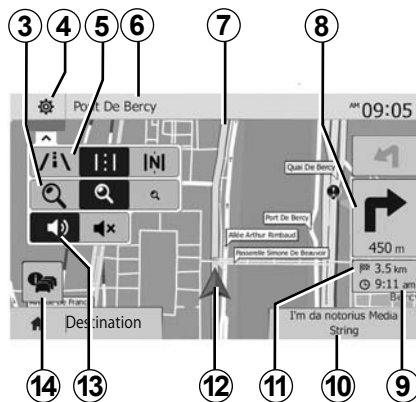
地図を表示する

車の位置周辺の地図を表示するには、「案内」>「ナビ」を押します。

地図画面をタッチして下さい。

ナビゲーション地図を移動するには、画面上で希望する方向にドラッグします。車の現在位置に戻るには、1 を押します。

拡大または縮小するには、3 を押します。



地図の凡例

- ナビゲーションシの表示オプション。
- さまざまな表示モードにアクセスします:
 - 「J」モード 3D;
 - 「J」モード 2D;
 - 2D 北モード（地図の上が常に北を向く）。
- 次の主要道路の名前と交通標識の情報。
- ナビゲーションシステムによって計算されるルートを表示します。
- 次の方向変更の距離と指示。

- 到着予定時刻。
- 現在再生中のメディア。
- 目的地までの残りの距離を表示します。
- ナビゲーションの地図上での車の位置を表示します。
- 音声ガイダンスをオン/オフにします。
- 交通情報。このエリアを押して、ルート上のさまざまな事故を検索します。

ポジション GPS

この機能を使用すると、選択された場所の地理的位置（住所、経度、緯度）を知ることができます。画面上で希望する場所をタッチして下さい。選択された場所の正確な位置を見つけるには、「オプション」を押して、次に「ニュース」を押して下さい。

地図記号

ナビゲーションシステムは、2 の記号を使用してランドマーク（POI）を表示します。「地図の設定」の章の「興味のある場所を表示する」の項を参照して下さい。

の地図を読み取る(2/3)



15

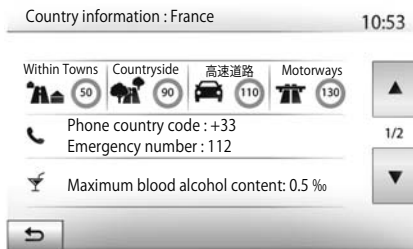
「Where Am I?」

この機能では、現在の位置の情報を確認し、最寄りの POI を探すことができます。これは、GPS がオンの場合に機能します。

現在ルートが進行中でない状態で、情報エリア 6 を押して「Where Am I?」画面にアクセスします。

この画面には次の情報が表示されます。

- 緯度；
- 経度；
- 標高；
- 街路番号；
- 現在の住所



国の情報

15 を押し、次に「Country Info」を押して下さい。

この機能では、現在の住所に応じた国の情報を表示することができます。

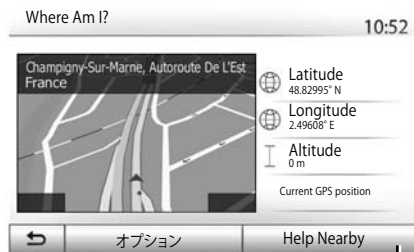
この画面には次の情報が表示されません。

- 速度制限。

主要道路の制限速度が表示されます。表示単位は、現在の地域のパラメータによります。データを入手できない場合は、表と番号の代わりに「--」が表示されます。

- 電話の国番号；
- 緊急電話番号、
- 国の現行の法規制
- 許容血中アルコール濃度、
- 高視認性ベスト着用の必要性、
- 消火器の必要性、
- ヘッドランプの常時点灯、
- スペアバルブの必要性、
- 救急箱の必要性、
- 三角表示板の必要性、
- オートバイでのヘルメットの着用、
- 冬季のチェーン、
- 冬季のチェーン推奨、
- 冬季のスタッドレスタイヤ、
- 冬季のスタッドレスタイヤの推奨、

の地図を読み取る(3/3)



「Help Nearby」

この機能では、現在の位置の近くにおけるヘルプを検索することができます。

新たな検索画面を素早く開くには、16を押して下さい。



この画面の情報：

- 自動車修理サービス、
- 緊急医療サービス、
- 交番、
- ガソリンスタンド。

この画面から目的地を検索するには、「目的地を入力する」の章と「ランドマーク (POI) を選択する」のポイント情報を参照してください。

目的地の入力 (1/6)

目的地のメニュー

「案内」>「ナビ」>「Destination」を押して、目的地メニューにアクセスします。

目的地のメニューは、目的地の異なった表示法を提案します：

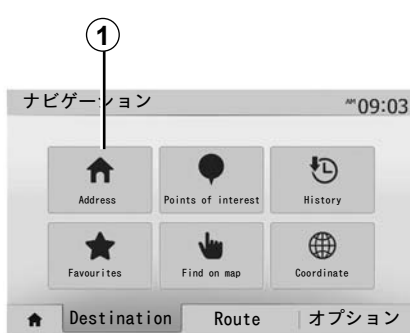
- 住所を入力する（全部または部分的に）；
- 「Points of interest」から住所を選択します。
- 過去の目的地の中から1つの目的地を選択します；
- お気に入りの目的地の中から1つの目的地を選択します；
- 地図上から1つ目的地を選択します；
- 緯度と経度を選択します。

住所を入力します

住所を入力するには、1 を押します。

このセクションでは、住所の全てまたは一部を入力することができます（都道府県、都市、道路、番地）。

注意： デジタルマップでシステムに認識されている住所だけが許可されています。



最初の使用時：

- 「Country」を押します。
- キーパッドを使用して、希望する国名を入力します。

住所入力時は、入力を簡単にするために一部の文字の強調を行いません。

2を押せば、システムが複数の県のリストを提案します。 リストからご希望の都道府県を選択します。

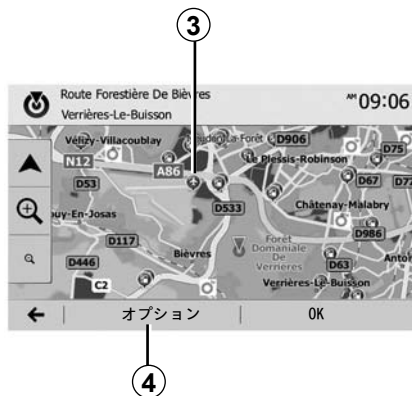
- 町 / 郊外、「Street」、脇道、街路番号についても同じことを行います。



注：

- 「Street」を選択した後、脇道および街路番号を有効にすることができます。
- 道路の入力の際は、その種類（通り、大通り、環状道路）を特定する必要はありません。
- システムは、最後に入力された住所を記憶します。住所で目的地を入力すると、デバイスを次に使用するときにその住所が表示されます。

目的地の入力 (2/6)



「ランドマーク」 (POI) から 選択する

ランドマークの中から目的地を選択できます。

様々な方法で場所を見つける事ができます：

- クイック検索機能を使用して、周辺の場所を名前ですぐ検索できます。
- 事前設定した検索機能で、画面を数回タッチするだけで頻繁に検索する種類の場所を検索できます。
- カテゴリ毎にスポットを検索できます。

ランドマークを検索する

クイックサーチ機能を使えば素早くランドマークを検索できます。

ランドマークを検索するにはマップの場所の上を押します。位置によっては、1 つ以上の 3 地点が画面に表示されます。

4 を押してから「Points of interest around cursor」を押して、ランドマークを名前と選択した地点からの距離と共に表示します。

事前にプログラムされたカテゴリによりランドマークを検索する

プリセット検索機能では、一番多く選択されているランドマークを素早く見つける事ができます。

「案内」 > 「ナビ」 > 「Destination」 > 「Points of interest」を押して、事前設定したカテゴリにアクセスします。

Points of interest

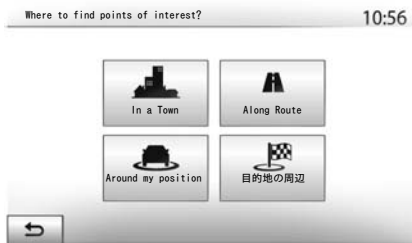
10:55



カテゴリ (サービスステーション / 充電ステーション / 駐車場 / レストラン)

- 有効なルートが存在する場合は、ランドマーク「Petrol station」と「Restaurant」がルートに沿って検索されます。ランドマーク「Parking」が目的地の周辺で検索されます。
- 使用中のルートが存在しない場合は（行き先を選択していない）、これらのスポットは、現在位置を中心に検索されます。
- 現在位置がわからない場合（GPS 信号がない）は、最後の既知の場所の周辺で検索されます。

目的地を入力する (3/6)



カテゴリー別にランドマークを検索する

カテゴリとサブカテゴリでランドマークを検索できます。

「案内」>「ナビ」>「Destination」>「Points of interest」>「Custom search」を押します。

お気に入りの目的地から住所を選択する

- 選択した都市／郊外内に有る場所を探すには「In a Town」を押します（結果リストは、選択した都市の中心部からの距離に応じてランク付けされます）。

- 与えられた地点を中心としない検索ではなく、使用中のルート沿いに検索するには、「Along Route」を押します。最短距離の休息所をお探しならば便利な機能です、例えば近くのサービスステーション、充電ステーション、またはレストランを探すとき（結果リストは、必要な行程の長さ別となります）。

- 現在位置、もしそれが解らない場合は、前回認識した位置の周辺周辺を検索するには「Around my position」を押します（結果リストは、前回の位置からの距離別となります）。

- 目的地の周辺を押して、有効なルートの目的地周辺の場所を検索します（結果リストは目的地からの距離順になります）。



以前の目的地の中から行き先を選択します。

以前定義した目的地を検索するには、5 を押します。

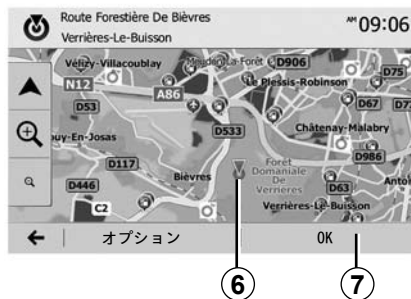
行き先を入力 (4/6)

お気に入りの行き先から住所を選択する。

お気に入りの目的地に目的地を見つけることができます。この機能をより効果的なものにするには、頻繁に走行する目的地を事前に保存しておくことをお勧めします。

最初に、住所で検索したお気に入りの目的地を保存します。「お気に入りを管理する」の項を参照してください。

「案内」>「ナビ」>「Destination」>「Favourites」を押して、お気に入りのリストを表示します。



地図上の目的地を選択します。

この機能では、マップをスクロールしながら目的地を探ることができます。

- 案内 > 「ナビ」 > 「Destination」 > 「Find on map」を押して、地図上の目的地を選択します。
- 次に、目的地として選択する地図上の場所を押します。ポイント 6 が表示されます。
- 7 を押して確定します。



目的地の座標を入力。

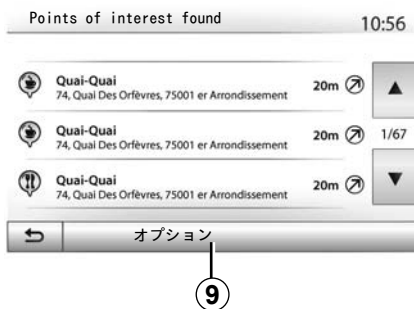
座標を入力して目的地を探す事ができます。

「案内」>「ナビ」>「Destination」>「Coordinate」を押します。

緯度と経度を次のいずれかの形式で入力できます：小数点による度数、度と分、度と分と秒。

8を押してから、UTM を押して、UTM 形式で緯度と経度を入力します。

目的地の入力 (5/6)

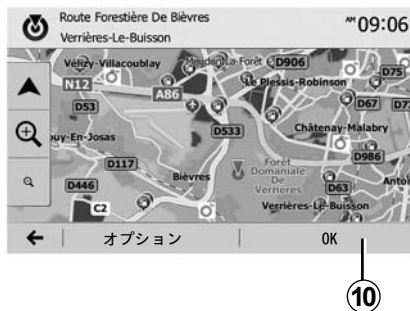


リストを並び替える

目的地、ランドマーク、履歴とお気に入りによる目的地の検索結果は、名前と距離別にソートできます。使用中のルートが存在する場合、結果は迂回路別に並び替えることができます。9 を押して、画面に地図を表示します。

名前で目的地を見つける。

ランドマーク、履歴、またはお気に入りによって目的地を選択する場合は、名前別のリストで目的地を検索できます。「Find」を押し、キーパッドを使用して名前を入力します。



目的地を確定します。

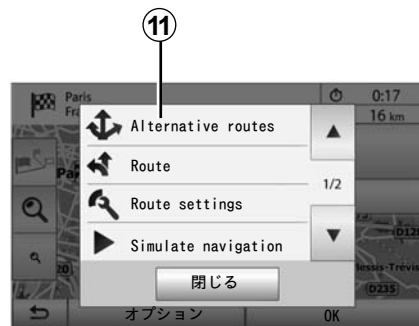
目的地を確定する前に複数選択できません。

- 「OK」、
- 「オプション」。

10 秒のカウントダウンが始まります。この時間中に何も操作しなければ、ガイドが自動的に開始されます。

「OK」

- 使用中のルートがない場合（目的地が選択されていない）は、目的地を新しいルートとして選択するために 10 を押します。



- 有効なルートが存在する場合は、新しいルートまたはステージとして目的地を選択できます。10 を押し、その後「New route」か「Waypoint」を押します。

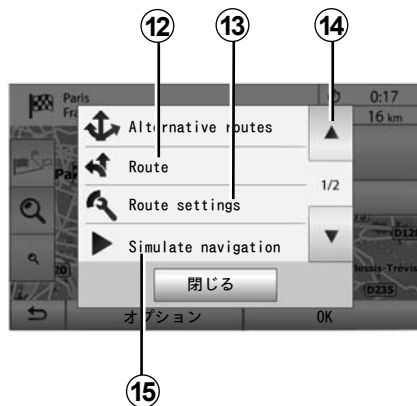
「オプション」

10 秒のカウントダウンが終了する前に、次の選択内容が画面に表示されません。

「Alternative routes」

11 を押して、ルートを変更または修正する。

行き先を入力 (6/6)



「Route」

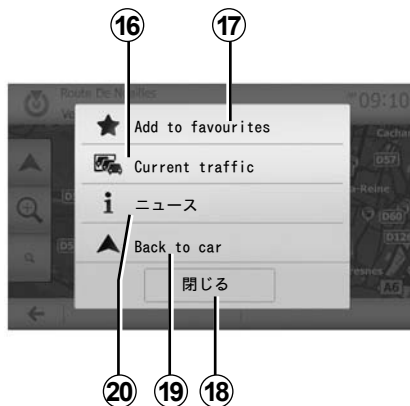
12 を押して、ルートの詳細を表示する。「ガイド」の項を参照してください。

「Route settings」

13 を押して、希望する道路やルートモードに基づいて、ルートを調整する。

「Simulate navigation」

15 を押して、選択したルートをシミュレーションする。「ガイド」の項を参照してください。



「Current traffic」

この機能で、ルート上または周辺の交通事故情報を取得できます。この情報にアクセスするには、14 を押してから「Current traffic」を選択します。

「オプション」

10 秒のカウントダウンが終了すると、次の選択内容が画面に表示されます。

「Add to favourites」

17 を押して、選択した目的地をお気に入りの目的地に保存する。

「Current traffic」

16 を押して、ルート上または周辺で発生した交通事故情報を取得する。

「ニュース」

20 を押して、ランドマークの住所、緯度と経度、電話番号を表示する（ランドマークを選択後にのみ有効）。

電気自動車の場合は、充電ステーションに関する補足情報にアクセスできません。

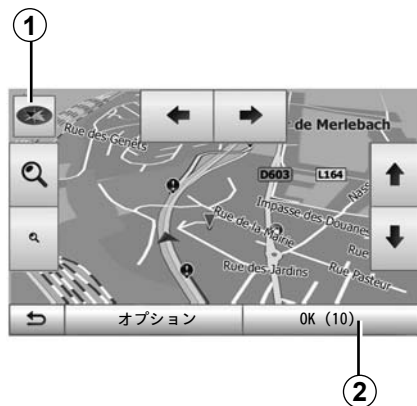
- ステーションの距離と住所。
- 充電タイプ（無料、サブスクリプションなど）。
- 充電ソケット数（使用可能なソケット数と合計数）。
- 充電ソケットのタイプ。
- ...

「Back to car」

車の現在位置に戻るには 19 を押しします。

注: 「オプション」 ウィンドウを閉じるには、18 を押しします。

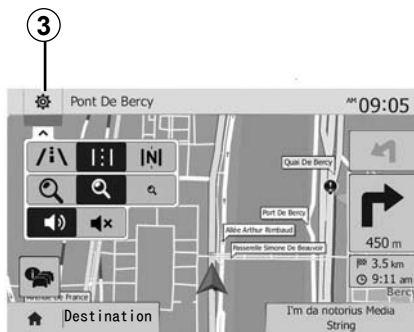
ガイド (1/6)



ガイドを起動

2 を押すか、目的地入力後 10 秒間待ってください。ガイド開始。

注：地図を希望する方向にスライドさせるか、画面を押すことで、いつでも地図と連動させることができます。



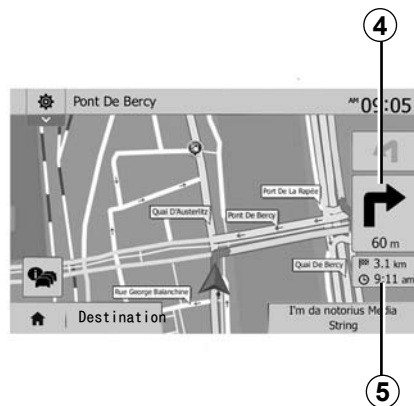
ガイド画面

システムが複数のナビゲーションマップを提案します。

地図の表示を変更するには、3 を押してドロップダウンメニューを開きます。さまざまな表示から 1 つを選択します。

- 2D ;
- 3D ;
- 2D 北。

地図上のコンパス 1 を押して、地図の表示を変更することもできます。



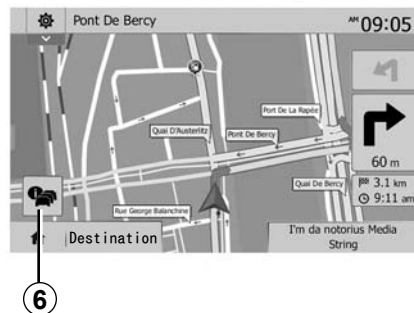
フルスクリーンモード (2D、3D または 2D 北)

このモードを使うとナビゲーションマップを振るスクリーンで表示できません。

目的地までの到着時間と残りの距離は、5 に表示されます。

次に曲がる箇所は、4 に表示されます。

ガイド (2/6)



交差点地図

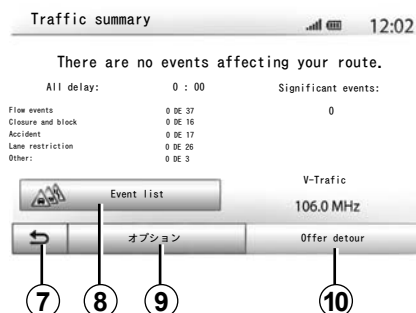
ガイド中の方向を変える前のガイド。

代替ルート

予定のルート上で事故または大渋滞がある場合は、代替ルートが提示されます。必要に応じて「Yes」または「No」を選択します。

交通情報の概要

ガイド中に、6 を押していつでも交通情報を得ることができます。



画面には、ルート上のさまざまな出来事が表示されます。走行中のこれらの出来事による遅延時間が示されます。出来事の表示設定を変更するには、8 を押します。迂回路には 10、交通オプション（「ナビゲーション設定」の項を参照）へのアクセスには 9、ナビゲーションに戻るには 7 を押します。

注：交通情報は、契約内容と信号の受信状態により異なります。

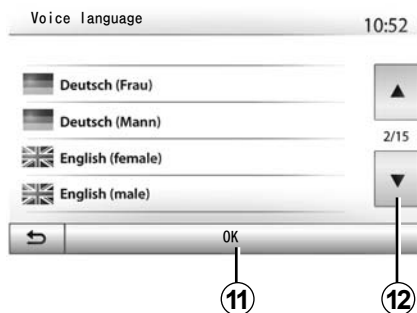


高速道路のジャンクションを見る

ガイド中は、高速道路のジャンクションが近づくと、ジャンクションを 3D で表示します。

注意：一部のジャンクションでは、ガイドページが 1 枚だけ表示されず、ジャンクションを通過すると通常モードに戻ります。

ガイド (3/6)

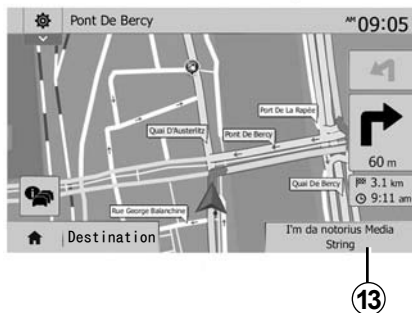


音声ガイドの言語を変える

音声ガイドの言語を変更するには、「案内」を押し、次に「ナビ」>「オプション」>「地域」を押します。

12を押しながら、言語リストをスクロールします。希望する言語を押したら、確認のために 11 を押します。

音声ガイドのサウンドを調節するには、「オーディオ調整」の「音声の設定」の情報を参照してください。



音声ガイダンス中にラジオを聴く

音声ガイドの途中および方向を変える前にラジオを聴いている場合は、ジャンクションを通過するまで音声ガイドがミュートされます。

13 を押すと、ナビゲーション中にラジオ局の聴取画面にアクセスできます。ナビゲーション画面に戻るには、14 を押します。メインメニューに戻るには、14 を 3 秒間押し続けます。



ルートの詳細

この機能ではルートを表示することができます。

目的地を入力した後に、「案内」>「ナビ」>「Route」を押します。

6つのオプションが提案されます：

- 「Edit route」、
- 「回避」、
- 「Overview」、
- 「Cancel Route」、
- 「Alternative routes」、
- 「Route」。

ガイド (4/6)



ルートの概要

使用中のルートの概要を得るには、「案内」>「ナビ」>「Route」>「Overview」を押します。

次の情報が表示されます。

- 目的地の名前と／もしくは住所
- 行程の時間；
- 行程の距離

- ルート上の特別ポイントと区間（通行料金、有料道路、高速道路など）。

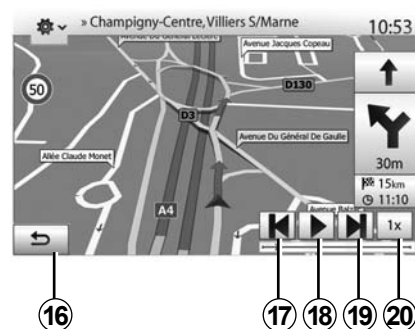
- 代替ルート（例えば「Short」、「Fast」、「経済的ルート」）。

15を押すと、次のオプションが表示されます：

- 「Warnings」、
- 「Route settings」、
- 「Map settings」、
- 「言語設定」、
- 「Coordinate format」、
- 「GPS」、
- 「Map Update」、
- 「Traffic」、

注意：

詳細については、次のページを参照して下さい。

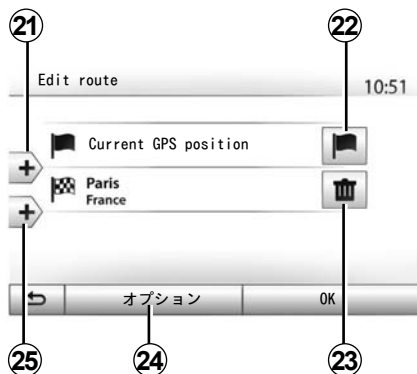


「Simulate navigation」、

「案内」>「ナビ」>「Route」>「Overview」>「オプション」>「Simulate navigation」を押して、目的地までのルートをシミュレーションすることができます。

- シミュレーションの開始、中止は18を押します。
- シミュレーションの速度を上げるには、20を押して下さい。
- 16を選択すればいつでもルートのシミュレーションを終了できます。
- 17 または 19 を押して、前のトラックまたは次のトラックに移動します。

ガイド (5/6)

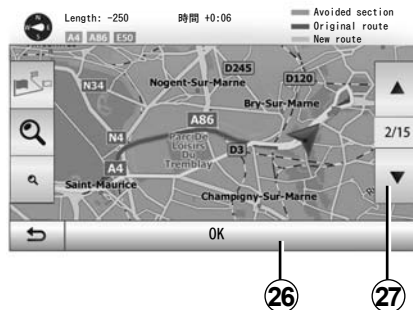


休息所と目的地

ステップを追加、変更、削除してルートを変更するには、「案内」>「ナビ」>「Route」>「回避」を押します。希望する迂回路に応じて、リストのエリアを押します。

ステップを追加するには、21 を押し、新しい目的地を追加するには、25 を押します。目的地を追加する方法はいくつかあります。「目的地を入力」の項を参照してください。

- 目的地を削除するには23を押します。
- リストの並べ替えは 24 を押します。
- ルートの出発点を変更するには、22 を押します。



迂回路

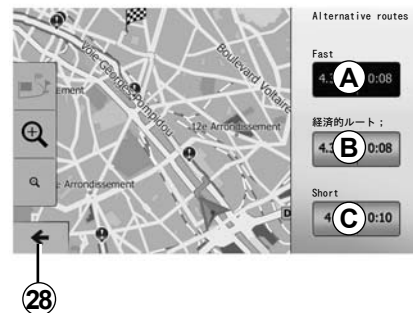
迂回路を得るには、「案内」>「ナビ」>「Route」>「回避」を押します。希望する迂回路に応じて、リストのエリアを押します。

スケールを変更するには、27 を押します。26を押すと新しいルートが確認されます。

ルートを取り消す

実行中のガイドをいつでも止める事ができます。

使用中のルートを取り消すには、「ホーム」>「ナビ」>「Destination」>「Route」>「Cancel Route」を押します。



代替ルート

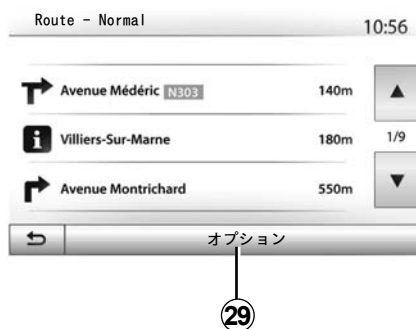
このセクションでは、ルートの計画方法を変更することができます。3つのモードを使用して、ルートの計画方法を変更することができます。

- 「Fast」、
- 「経済的ルート」、
- 「Short」。

「ナビゲーションの設定」の章の「ルートの設定」の項を参照してください。

「案内」>「ナビ」>「Route」>「Alternative routes」を押してから、A、B または C を押して、新しいルートを確定します。前の画面に戻るには、28を押して下さい。

ガイド (6/6)



「Route」

この機能は、道路図を表示できます。ルートの詳細のいくつかが表示されます：

- 方向変更の矢印；
- 道路番号；
- 渋滞までの距離。

ルートの詳細をソートするために29を押します：

- 要約でのソート。
走行の主要な要素（出発地点、目的地）、総距離、残り時間、到着時間のみを表示します。
- 標準の説明でのソート。
全ての操作と標識、道路番号、通りの名前、距離の詳細が表示されません。ドライバーが入力したルート区画名、制限（アクセスおよび走行の制限）、無視するユーザー設定などの、情報や警告も表示されます。
- 道路リストでのソート。

道路名や道路番号が詳しく表示されます。長さ、方向、平均行程時間も表示されます。ルートの構成要素は、このモードでは表示されません。

「Route settings」

この項目では、ルートの設定を選ぶ事ができます。「ナビゲーションの設定」の章の「ルートの設定」の項を参照してください。

地図の設定

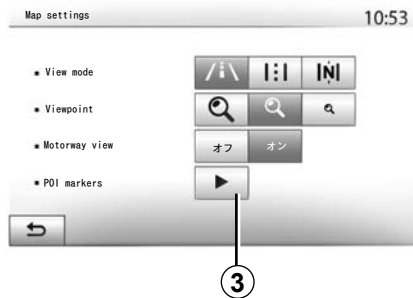


ナビゲーションメニューから、2、1の順に押して、地図の調節メニューにアクセスします。

表示モードを設定する

この機能は、地図の表示を 3D、表示と 2D 俯瞰表示に切り換えます。北が常に上になります。

「3D」、「2D」または「2D 北」を押します。



視点を調整する

この機能で、基本のズームと傾きを調整できます。使用可能な 3 つのレベルから必要な縮小率を押します。

高速道路図

この機能で高速道路図の使用開始／終了ができます。

「オン」を押して機能を有効にするか、「オフ」を押して無効にします。

ランドマークを表示する

地図上にランドマーク（目盛り100mで視認可能）を表示できます。

この機能に直接アクセスするには 3 を押してランドマークを地図上に表示させます：

- 宿泊施設、
- 空港、
- 自動車、
- ビジネス、
- カフェまたはバー、
- ...

「オン」または「オフ」を押して、ランドマークの表示・非表示を行います。

サブカテゴリーリストを開くには、ランドマークの名前を入力します。

注：地図を使用できない国の場合は、ナビゲーション機能を無効にすることができます。「案内」>「地域」>「システム」で、「オフ」（「ナビゲーション」の反対側）を押して、ナビゲーション機能を無効にします。

お気に入りの監理 (1/2)



- 「History」：「目的地の入力」の「以前の目的地から目的地を選択する」の項を参照してください。
- 「Favourites」：保存した目的地にアクセスします。
- 「Find on map」：「目的地の入力」の「地図で目的地を選択する」の項を参照してください。
- 「Coordinate」：「目的地の入力」の「緯度と経度の入力」の項を参照してください。



エントリーの作成

「案内」>「ナビ」>「Destination」を押して、目的地メニューにアクセスします。目的地を入力するには幾つかの方法があります。

- 「Address」：「目的地の入力」の「住所の入力」の項を参照してください。
- 「Points of interest」：「目的地の入力」の「ランドマーク (POI) の入力」の項を参照してください。

いずれの場合も、一旦住所が有効になれば、システムは地図上に位置を確定します。お気に入りの目的地を追加するには、「オプション」を押し、次に「Add to favourites」を押します。

お気に入りの目的地を保存する前に、デジタルキーパッドを使用して名前を変更します。

お気に入り管理する(2/2)



リストを並び替える

保存したお気に入りの結果は、名前、距離、または地図上のすべてでソートできます。「オプション」を押します：

お気に入りの目的地を消去する

消去したい目的地を押します。「オプション」、「Delete favourite」を押してから、Remove を押して削除を確認します。

全てのお気に入りの目的地を消去するには、「オプション」を押し、次に「すべて削除」を押します。「すべて削除」を押して、この削除を確認します。

お気に入りの目的地を検索する

この機能で、リストのお気に入りの目的地を名前で検索できます。

「Find」を押して、デジタルキーボードを使用してお気に入りの目的地の名前を入力します。

ナビゲーションの設定 (1/4)



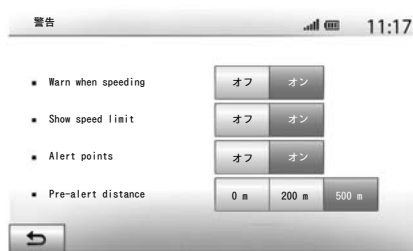
「オプション」タブ（「ナビゲーション」メニューの最下部）で、地図の表示またはナビゲーション設定を変更できます。

「Warnings」

このセクションでは、警告を設定することができます。

速度超過の際の警告

地図に、道路区間の速度制限の情報を含めることができます。現在の制限速度を超えた場合に、システムが警告を与えます。



これらの情報は、お客様の地域ではご利用頂けない場合があります、または地図のすべての道路について完全に正しいとは限らない場合があります。

次のアラートの種類がご利用頂けます：

- ビープ： 制限速度を超えた場合には言葉に寄らない警告が発せられます。
- 視覚警告： 制限速度を超えた場合に、地図上で現在の制限速度が赤で表示され点滅します。

警告を作動または解除するには、「オン」または「オフ」を押して下さい。

制限速度を常に表示させる

「オン」または「オフ」を押すと、道路区間で制限速度を表示させたり非表示にしたりできます。

アラートポイントの警告

ドライバーが警戒すべきエリアに侵入した場合は、ビープ音と共に画面に警告シグナルが表示されます。道路区間の危険エリアでは、ドライバーは特別な注意を払う必要があります。危険エリアは永続的または一時的なものとなります。この機能を作動または解除することができます。

事前警告の距離

いくつかの選択肢から距離を選択して、危険なエリアを通知する距離を設定できます。

一部の国では、警告地域をダウンロードして使用することが違法なので罪になる可能性があります。

ナビゲーションの設定 (2/4)



「Route settings」

この機能を使用すると、ルートが計算される方法を定義することができます。

「Route planning method」

このシステムには、3 つのルートの計算方法があります。

- 「Fast」：制限速度または殆どすべてのルートを運転する場合における迅速なルートを示します。
- 「Short」：距離を最短にするために短縮ルートを示します。



- 「エコ」：このモードは、迅速かつ短縮モードの中間を示します。このモードによって、少々長く運転しながら、ある程度の距離を稼ぐことができます。計算されたルートは、恐らく迅速なソリューションよりも短いと思われませんが、あまりゆっくりではありません。

「Motorways」

遅い車を運転したり他の車をけん引している時に、高速道路を使用しないようにすることができます。

「Period charge」

特定の期間で特別な認証の必要な目的で使用する道路を認証または拒否することができます。

「Per-use Toll」

有料道路の使用を承認または拒否することができます。

「フェリー」

あらゆるタイプのフェリー、ボート、列車の使用を承認または拒否することができます。

「Carpool/HOV」

この機能で、2 人のドライバーだけで道路の表示を共有できます。

「Unpaved roads」

オフロードの使用を承認または拒否することができます。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

ナビゲーションの設定 (3/4)

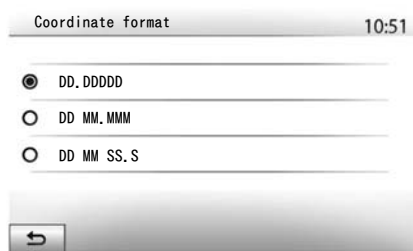


「Map settings」

「地図の設定 カード」の章をご覧ください。

「言語設定」

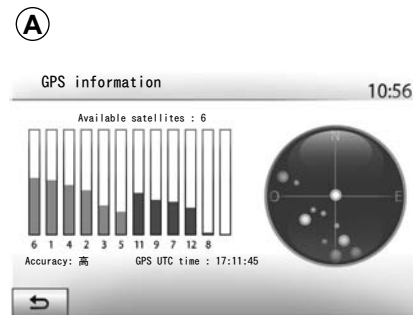
この機能では、音声ガイダンスの言語を変更することができます。このマニュアルの「ガイド」の項を参照してください。



「Coordinate format」

この機能では、連絡先のフォーマットを変更することができます。

このシステムには 3 種類のフォーマットがあります。



GPS

この機能では、GPS 衛星の状態を検査することができます。

「GPS」の情報を表示するには、GPS 情報を押します (A 画面)。



ナビゲーションに関する注意事項

ナビゲーションシステムを使用したからといって、いかなる場合にも、運転する際の運転者の責任と警戒がなくなるわけではありません。

ナビゲーションの設定 (4/4)



「Map Update」

この機能で、最後の更新日を確認できます。

「Traffic」

この機能で、「Traffic info」、異なる出来事へのフラグ設定、事故または交通渋滞の際の代替ルートの管理を有効または無効にできます。



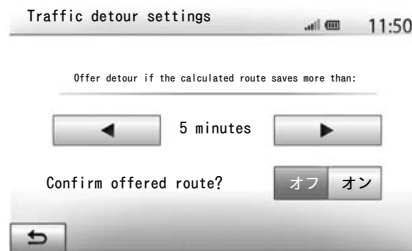
「Traffic info」

走行中のルートで発生したさまざまな出来事に対する警告を有効または無効にできます。

「Detour」

この機能で、走行中に出来事が発生した場合に代替ルートを提示することで、時間を節約することができます。

新しいルートが提示された後で、マルチメディアシステムで迂回路を選択して時間を節約できます。



「Event types」

この機能で、ナビゲーション中に表示する出来事の種類を選択できます。

- 「All events」、
- 「Flow events」、
- 「Closure and block」、
- 「Accident」、
- ...



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。



Driving ecoのメニューにアクセスする

(利用できるかどうかは車両によって異なります)

メインメニューから、「車両」を押し、続いて「Driving eco」を押します。

メニュー「Driving eco」から次の情報にアクセスできます。

- 「走行レポート」、
- 「Ecoスコアリング」、
- 「Ecoコーチング」。



「走行レポート」 1

このメニューでは、直近の走行の際に記録されたデータを表示することができます。

- 「平均消費」、
- 「平均速度」、
- 「燃料消費を伴わない距離」。

注： 2 を押してデータをリセットできます。



「Ecoスコアリング」 3

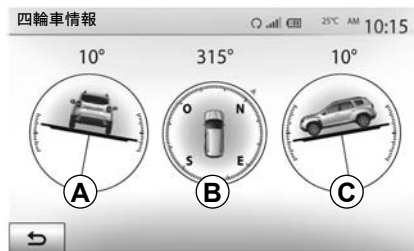
このメニューで、100 点満点での全体スコアを取得できます。点数が高いほどエコドライバーとしてのパフォーマンスが高いとされます。

- 加速の平均パフォーマンス (エリア A)、
- ブレーキング予測の平均パフォーマンス (エリア B)、

「Ecoコーチング」 4

このメニューでは、運転スタイルを評価し、燃費を最適化するためのアドバイスを提供します。

四輪車情報



「四輪車情報」のメニューにアクセスします。

メニューから、「Vehicle」を押し、続いて「四輪車情報」を押しします。

「四輪車情報」機能で車両を表示できます。

- 車輪キャンバー（ドライブ）（度単位）、リアルタイム（エリア A）。
- コース、コンパスを使用して（エリア B）。

- 水平方向の角度（ピッチ）（度単位）、リアルタイム（エリア C）。

注意：

- 画面に表示される角度を示す値は、実際と 1 - 3 度異なることがあります。
- ディスプレイは約 1 秒おきにリフレッシュされます。

BLUETOOTH[®] デバイスのペアリング、ペアリング解除 (1/4)

別の電話のペアリング Bluetooth[®]

ハンズフリー電話システムを使用するには、初回使用時に車両とBluetooth[®] 携帯電話をペアリングさせなければなりません。

ペアリングにより、システムがBluetooth[®] 電話を認識して記憶することができます。スマートフォンを5 台までペアリングできますが、ハンズフリーシステムに一度に接続できるのは1 台だけです。

ペアリングは、マルチメディアシステムまたは電話経由で直接行うことができます。

システムとスマートフォンをオンにして、スマートフォンのBluetooth[®] が有効になっており、他のデバイスに表示され識別可能であることを確認します（詳細については、電話の指示を参照してください）。

電話のブランドとモデルによっては、ハンズフリー機能が車両と部分的または完全に互換性がある場合があります。



マルチメディアシステムからの Bluetooth[®] 電話のペアリング

- お使いになる電話の Bluetooth[®] 接続をオンにします。
- 「地域」>「接続」>「Bluetooth デバイスの検索」を押します。
- 電話が作動しており、Bluetooth[®] リンクに表示されていることを確認します。
- システムの機器のリストから、ご使用になる電話を選択します。
- 電話の画面に確認のメッセージが表示されます。

互換性のある電話機のリストについては、<https://easyconnect.renault.com> サイトを参照してください。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

BLUETOOTH[®] デバイスのペアリング、ペアリング解除 (2/4)

電話によっては、「ツイン」、「ペア」、または「接続」を押してペアリングを認証します。

- 電話によっては、電話のキーパッドで、マルチメディアシステムの画面に表示されたコードを入力します。
- 電話の画面に 2 番目のメッセージが表示されます。これによりマルチメディアシステムに自動的にペアリングされ、使用できるようになります。この認証を受け入れて、これらの手順をすべて繰り返す必要性をなくします。

電話のタイプによって、システムから求められた場合は、ペアリング中にマルチメディアシステムへの電話帳と通話履歴の転送を確認します。

共有を受け入れて、お使いのマルチメディアシステムにこの情報が表示されるようにします。次のペアリング中に、マルチメディアシステムへの電話帳と通話履歴の自動共有を認証することもできます。

注：お使いのマルチメディアシステムのメモリーには制限があり、すべての連絡先をインポートできない場合があります。

お使いのスマートフォンがマルチメディアシステムとペアリングされました。

注：ペアリングにかかる時間は、電話のブランドとモデルによって異なります。

ペアリングに失敗した場合は、同じ手順を繰り返します。Bluetooth[®] デバイスの検索中にシステムでお使いの電話が表示されない場合は、電話のマニュアルを参照してください。

BLUETOOTH[®] デバイスのペアリング、ペアリング解除 (3/4)

電話からの Bluetooth[®] 電話のマルチメディアシステムへのペアリング

- 電話とシステムの Bluetooth[®] 接続をオンにします。
- マルチメディアシステムのメインメニューで、「地域」 > 「接続」 > 「外部デバイスの認証」を選択します。これで、システムが他の Bluetooth[®] 電話に表示されます。
- 画面にメッセージが表示され、パスワードとシステムが表示される残り時間が示されます。
- 電話から、使用可能な Bluetooth[®] デバイスのリストを表示します。
- 所定の時間内に、使用可能なデバイスからマルチメディアシステム「」を選択します。電話によっては、システム画面に表示されたパスワードを電話のキーパッドを使用して入力します。

電話の画面にメッセージが表示され、マルチメディアシステムとペアリングされたことが通知されます。

注：ペアリングにかかる時間は、電話のブランドとモデルによって異なります。

ペアリングに失敗した場合は、同じ手順を繰り返します。

マルチメディアシステムをオンにすると、最後にペアリングされたデバイスが自動的にシステムに接続されます。



ご使用のハンズフリーシステムは、リスク要因をできるだけ減らす事で通信を容易にすることだけを目的としています。(1) 運転する国によって定められた法律を必ず遵守してください。

BLUETOOTH[®] デバイスのペアリング、ペアリング解除 (4/4)

マルチメディアシステムから Bluetooth[®] 電話のペアリングを解除するには、次の手順を実行します：

ペアリングを解除すると電話のハンズフリーシステムのメモリーが消去されます。

メインメニューから、「地域」>「接続」を押し、続いて「Bluetoothデバイス リストの表示」を押します。リストから消去するスマートフォン名の反対側のゴミ箱アイコン 1 を押します。「OK」を押して選択を確定します。

マルチメディアシステムからすべての Bluetooth[®] 電話のペアリングを解除するには、次の手順を実行します：

ハンズフリーシステムメモリーから、すでにペアリングしているすべての電話を削除することもできます。メインメニューから、「地域」>「接続」>「Bluetoothデバイス リストの表示」、「オプション」「すべて削除」の順に押します。「OK」を押して、ペアリングされているすべての電話の削除を確認します。



「パスキーの変更」

Bluetooth[®] 電話のペアリングを認証する 4 桁のシステムパスワードをカスタマイズすることができます。

メインメニューから、「地域」>「Bluetooth」>「パスキーの変更」を押します。



「スマートフォン」

この機能は、「接続」メニューの 2 ページ目で使用できます。音声制御の作動および操作に関するアシスタンスにアクセスできます（「音声制御の使用」の項も参照してください）。

BLUETOOTH^(R) デバイスの接続、接続解除 (1/2)

Bluetooth^(R) でペアリングされた電話に接続する

予めペアリングされていない場合は、ハンズフリーフォンシステムに接続されている電話はありません。「Bluetooth^(R) デバイスのペアリング、ペアリング解除」の項を参照してください。

すべての機能にアクセスするには、電話をハンズフリーシステムに接続する必要があります。

自動接続

システムがオンになると、ハンズフリーシステムが周辺のペアリングされた電話を検索します（検索に 1 ～ 2 分かかる場合があります）。次の場合は、最後に接続した電話に自動的に接続します。

- 電話の Bluetooth^(R) 接続が有効になっている、
- ペアリング時に、電話からシステムへの自動接続を承認している。

注：

- 接続時に通話中の場合は、音声は車両のスピーカーに自動的に転送されます。
- システムとのペアリング中に電話に表示されるすべてのメッセージを受け入れ承認して、自動デバイス認識機能をスムーズに差動させることをお勧めします。

手動接続

メインメニューから、次の作業を行います。

- 「携帯電話」を押します。
- 「Bluetoothデバイス リストの表示」を押します。
- 接続する電話名を選択します。

お使いの電話がマルチメディアシステムに接続されます。

接続失敗

接続失敗の場合は、次を確認してください：

- 電話機がオンになっている；
- デバイスがシステムの自動接続要求を受け入れるように設定します。
- デバイスの電池が放電されていない；
- お使いのデバイスは、予めハンズフリーシステムにペアリングされている；
- デバイスのBluetooth^(R)とシステムの機能が作動します。

注意：ハンズフリーシステムを長時間使うと、お使いの装置のバッテリーは、より早く放電します。

BLUETOOTH^(R) デバイスの接続、取り外し (2/2)

接続した電話を充電する

Bluetooth^(R) デバイスは、いつでも接続または切断できます。

メインメニューで、「携帯電話」を押してから、「設定」、「デバイスのリスト」の順に押します。

接続するために装置を押し当てて、「OK」を押して確認します。

小さなマーカー 1 が電話名の反対側に表示されて、接続が行われたことを示します。



接続された電話の切断

マルチメディアシステムから電話の接続を外すには、デバイスの名前を選択します。小さなマーカー 1 が表示されます。

電話機を取り外す時に通話中の場合は、自動的に通話は、お使いの電話機に転送されます。

音声認識を使用する (1/3)

はじめに

車両のマルチメディアシステムは、お客様の電話の音声認識システムを使用して次の機能を実現します。

- 車両マルチメディアシステム機能の一部と電話機能の一部を音声で制御します。
- ステアリングホイールを握ったまま、マルチメディアシステムまたは電話を使用することができます。


注：

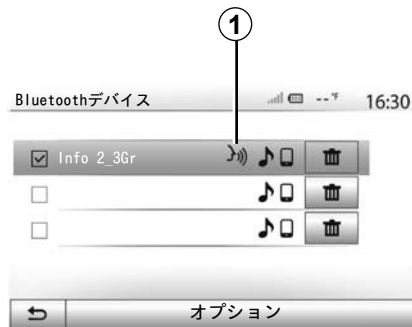
- 音声認識ボタンの位置は、異なる場合があります（ステアリングホイールコントロール、ステアリングコラムコントロール、またはマルチメディア画面）。
- 音声認識を使用するときは、お使いの電話に設定されている言語セットがシステムで使用されます。
- スマートフォンに音声認識機能がない場合は、マルチメディアシステムにメッセージが表示されます。

マルチメディアによる電話の音声認識の作動

電話の音声認識システムを作動させるには、次の操作を行う必要があります。

- お使いのスマートフォンで、3G、4G または Wi-fi 接続を取得します。
- スマートフォンの Bluetooth[®] を有効にして、他の機器から接続できるようにします（方法については、電話のマニュアルを参照してください）。
- スマートフォンをマルチメディアシステムとペアリングして接続します（「Bluetooth[®] デバイスのペアリング、ペアリング解除」の項を参照してください）。

音声認識ボタン  を押し続け、作動させます。



注：「設定」>「接続」>「Bluetooth デバイス リストの表示」メニューの記号 1 は、スマートフォンの音声認識がマルチメディアシステムと互換性があることを示します。

マルチメディアシステムで電話の音声認識を使用する場合は、操作に必要な携帯電話データの移動に、電話のサービス契約に含まれない追加料金がかかる場合があります。

音声認識を使用する (2/3)

①

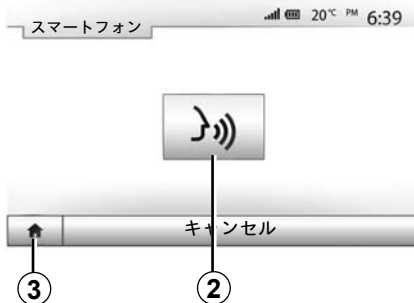


ピープ音が鳴り、画面 A に音声認識が作動したことが示されます。

大きな声で明瞭に発声してください。

注：スマートフォンの音声認識システムでは、電話の特定の機能のみを使用できます。ラジオ、Driving eco などの、その他のマルチメディアシステムの機能と連動することはできません。

②



使用方法

音声認識が作動したら、音声認識を再開するには、ステアリングホイールコントロール、ステアリングコラムコントロールまたはマルチメディアシステムのボタンをタップするか、またはマルチメディアシステム画面の 2 ボタンをタップします。

3 を押すと、いつでもメインメニューに戻ることができます。

④




画面 B に戻るには、マルチメディアシステムの 4 を押します。

注：音声認識の使用中は、「メディア」機能と「ラジオ」機能は使用不可となり、マルチメディアシステムのメインメニューもアクセスできません。

音声認識を使用する (3/3)



作動解除

画面 B のボタン 2 を押すか、または車両の音声認識ボタン  を押し続けます。音声信号が、音声認識がオフになったことを示します。




ヘルプ

音声認識システムの操作と使用条件についての詳細なヘルプもあります。ヘルプを確認するには、「案内」>「設定」>「接続」を押します。6、5の順に押し、2 ページ目を選択します。

この機能は、次の内容と共に、音声認識の使用方法を説明する画面の形式で提示されます。

- 使用についてのヒント、
- 互換性のある電話、



- 車両の音声認識ボタン  を使用した機能の作動 / 作動解除
- 画面と連動する方法、
- 使用可能な機能、
- 機能の範囲。

Android Auto™

はじめに

「Android Auto™」は、スマートフォンのアプリケーションダウンロードプラットフォームからダウンロードできるアプリケーションで、電話のいくつかのアプリケーションおよび機能をマルチメディアシステム画面から使用することができます。

注：

- スマートフォンが「Android Auto™」アプリケーションに対して互換性があるかどうかを確認するには、電話のオペレーティングシステムの公式ウェブサイトを参照してください。
- 「Android Auto™」アプリケーションは、スマートフォンが車両の USB ポートに接続され、音声認識機能が有効な場合のみ動作します。「Android Auto™」アプリケーションは、メインメニューの 1 ボタンから使用できるようになります。

アプリケーションの機能が正常に機能するように、電話メーカーが推奨する USB ケーブルの使用をお勧めします。



初めての使用

マルチメディアシステムの USB ポートに電話を接続します。

- 「Android Auto™」アプリケーションを使用するには、スマートフォンでリクエストを受け入れます。
- 電話で「同意する」を押して確認します。

「Android Auto™」アプリケーションがマルチメディアシステムで起動します。

上記の手順が失敗した場合は、同じ操作を繰り返してください。



マルチメディアシステムに接続したデバイスは、いつでも「設定」>「接続設定」から管理できます。

注：「Android Auto™」との最初の接続は、車両の停止時に、マルチメディアシステムの音声認識を作動させるためにのみ行われます。

ANDROID AUTO™, CARPLAY™ (2/4)

CarPlay™

はじめに

「CarPlay™」は、マルチメディア システム画面から、電話でいくつかのアプリケーションの使用を可能にする、スマートフォンで利用可能なネイティブサービスです。

注：

- スマートフォンに「CarPlay™」サービスが装備されていない場合、電話のオペレーティング システムの公式ウェブサイトを参照してください。
- 「CarPlay™」サービスは、スマートフォンが車両の USB ソケットに接続され、SIRI サービスが有効な場合のみ動作します。「CarPlay™」サービスは、メインメニューの 2 ボタンに表示されます。

アプリケーションの機能が正常に機能するように、電話メーカーが推奨する USB ケーブルの使用をお勧めします。



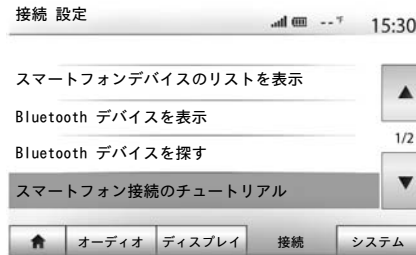
2

初めての使用

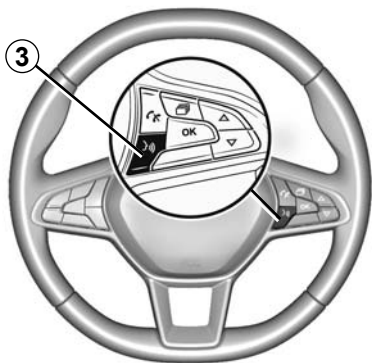
マルチメディアシステムの USB ポートに電話を接続します。

CarPlay™ サービスがマルチメディアシステムで起動します。

上記の手順が失敗した場合は、同じ操作を繰り返してください。



マルチメディアシステムへのスマートフォンの接続に関するチュートリアルには、「設定」>「接続 設定」からアクセスできます。



「Android Auto™」アプリケーションまたは「CarPlay™」サービスが作動すると、車内で音声認識ボタンを使用して、音声によってスマートフォンのいくつかの機能を作動できます。このためには、車両のステアリングホイールのボタン 3 を押します（詳細については、「音声認識の使用」に関するセクションを参照してください）。

注記：

- 「Android Auto™」または「CarPlay™」を使用している場合は、スマートフォンのナビゲーション機能および音楽アプリケーションを利用できます。これらのアプリケーションは、すでに実行しているマルチメディアシステムに統合された同様のアプリケーションに代わるものです。たとえば、1 つのナビゲーション アプリケーション、「Android Auto™」 / 「CarPlay™」、またはマルチメディアシステムに統合されたアプリケーションのみを使用できます。
- Android Auto™ または CarPlay™ を使用している場合、いくつかのマルチメディアシステムの機能はバックグラウンドで実行され続けます。たとえば、マルチメディアシステムでラジオの再生中に、「Android Auto™」または「CarPlay™」を始動して、スマートフォンでナビゲーションを使用しても、ラジオの受信は継続されます。

「Android Auto™」アプリケーションまたは「CarPlay™」サービスの使用時に、機能に必要なモバイルデータの転送により、電話プランに含まれない追加コストが発生することがあります。



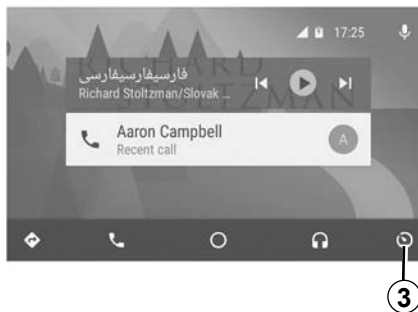
マルチメディアシステムのインターフェイスに復帰します。

インターフェイスに復帰するには:

- マルチメディアシステムのフロントパネルまたは中央コントロールで「ホーム」ボタンを押します、

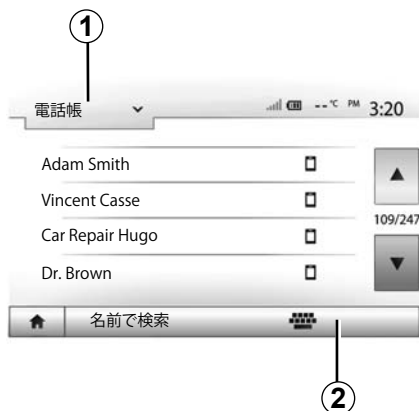
または

- マルチメディアシステム画面で、「Android Auto™」または「CarPlay™」に従って、ボタン 3 を押します。



「Android Auto™」アプリケーションと「Carplay™」サービスの機能は、お使いの電話の製造元とモデルに応じて異なります。詳しくは、製造元の Web サイトを参照してください。

電話帳



「携帯電話」メニューから、1 を押してメニューのリストをスクロールして、次に「電話帳」を押して、システムの電話帳にアクセスします。

電話帳を使う

電話のメモリーに登録されている電話帳のデータを使用することができます。

お使いのシステムとBluetooth® のBluetooth電話が Bluetooth®のワイヤレステクノロジーを介して接続を完了すると、連絡先がお使いのデバイスの電話メモリーに保存されている場合は、電話帳の番号が自動的にシステムのディレクトリに転送されます。

注: 電話によって、システムから求められた場合は、ペアリング中にマルチメディアシステムへの電話帳と通話履歴の転送を確認します。

電話帳の番号から電話をかける

電話帳に登録された連絡先には、登録された番号を選択して電話をかけることができます。

電話帳から連絡先を検索する

2 を押してから、デジタルキーパッドを使用して、連絡先の姓または名を入力します。

電話の仕様とモデルによっては、マルチメディアシステムへの連絡先の転送が機能しない場合があります。



電話番号を押すまたは連絡先を検索するのを止めることをお勧めします。

電話をかける、電話を受ける(1/3)

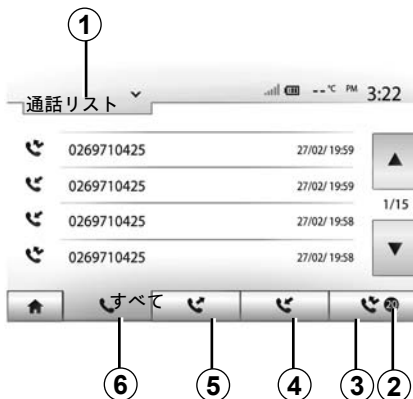


リストから電話をかける

電話が接続されている場合は、「携帯電話」メニューから「電話帳」を選択します（ドロップダウンメニュー 1 から）。

連絡先を選択します（または複数の連絡先がある場合は適切な番号）。連絡先の番号を押すと、自動的に呼び出しが行われます。

注：スマートフォンの音声認識を使用して、マルチメディアシステムから呼び出しを行うことができます。「音声認識を使用する」の項を参照してください。



通話履歴から電話をかける

電話のメモリーに保存されている呼び出しリストを使用して、呼び出しを行うことができます。

ユニットと Bluetooth^(R) 電話を Bluetooth^(R) ワイヤレステクノロジーで接続すると、電話の「すべての通話」、「発信」、「着信」、「不在着信」リストが、お使いのマルチメディアシステムの通話リストに自動的に転送されます。

1 を押ししてリストをスクロールし、「通話リスト」を押します。

すべての通話履歴のリストにアクセスするには、6 を押しして下さい。

発信リストにアクセスするには 5 を押しして下さい。

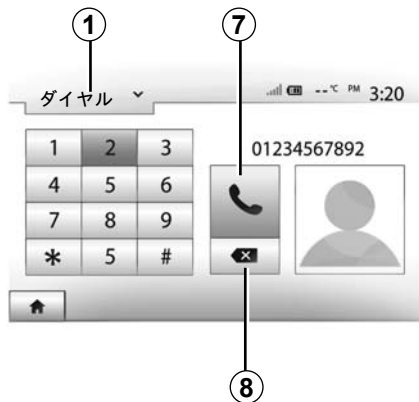
受信リストにアクセスするには 4 を押しして下さい。

不在着信リストにアクセスするには 3 を押しして下さい。

注： マーカー 2 は、不在着信の数を示します。

それぞれのリストについて、連絡先が新しい順に表示されます。電話をかけるには、連絡先を選んで下さい。

電話をかける、電話を受ける(2/3)



電話番号を押す

1 を押してリストをスクロールし、「ダイヤル」を押してさらに電話番号をスクロールします。

番号ボタンを押して電話番号をダイヤルし、7 を押して電話を切ります。

番号を削除するには、8 を押します。8を長押しすると、一度にすべての番号を消すことができます。



電話番号を押すまたは連絡先を検索するのを止めることをお勧めします。



電話を受ける

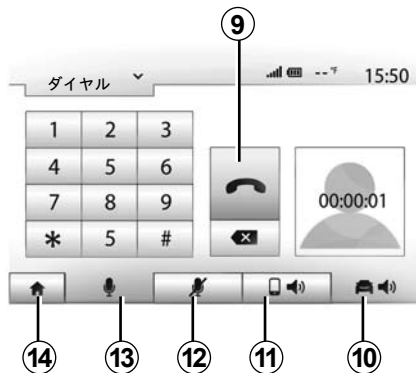
電話がかかってくると、マルチメディアシステムの画面に、次の電話情報を示すメッセージが表示されます。

- 通話者の名前（名前がディレクトリに存在する場合）；
- 発信者の番号、
- 「Unknown Number」（番号を表示できない場合）。

注：ナビゲーション中に着信メッセージが画面に表示された場合は、受け入れるか拒否して、ナビゲーション画面に戻ります。

注：車両のステアリングコラムのボタンを押して、着信に応答するか、または着信を拒否できます。

電話をかける、電話を受ける(3/3)



- 10 を押して、車両のスピーカーから音声を聞きます。
- 前の画面（ナビゲーション画面など）またはようこそ画面に戻るには、14 を押します。

通話中

通話中に以下ができます：

- 12 を押してマイクをオフにします；
- 13 を押してマイクをオンにします；
- 9を押して電話を切る；
- 11を押して音声を電話のスピーカーから聞く；

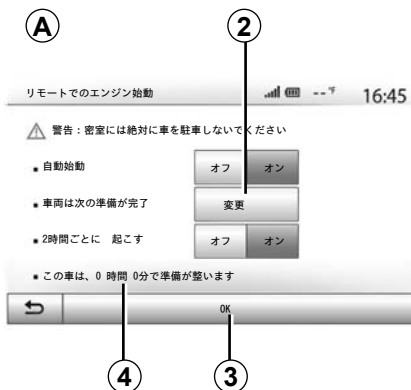
リモートエンジン始動 (1/3)



装備されている場合、この機能を使用することでエンジンのリモート始動を設定でき、車両の使用開始から最大24時間前までの間に室内を温めたり換気したりすることができます。この機能を設定する前に、必要なヒータイングレベル（温度、デフロスター）を調整してください。マルチメディア画面から構成と設定を行うことができます。

機能の開始時刻の設定

- イグニッションをオンにしてから、メインメニューで 1 を押します。A 画面が表示されます。



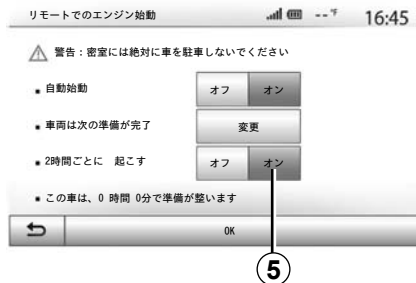
- 「オン」ボタン（「自動始動」ラインの）を選択して、機能を有効にします。
- 2 ボタンを押して、車両を使用する開始時刻を設定します。
- 「上」および「下」矢印を押して、希望する時刻が得られるまで時間をスクロールします。
- 「OK」を押して確認します。4 マーカは、車両を使用するまでの残り時間を示します。
- 「OK 3」を押し、設定を確認、完了します。



- エアコンコントロールを調節して、エンジン始動時の希望室内温度を設定してから（車両マニュアルの 2 章を参照）、デフロスターモードにします。

設定したリモート始動を有効にするには、マルチメディアシステムに表示されている時刻よりも 15 分以上後の時刻を選択する必要があります。

リモートエンジン始動 (2/3)



- イグニッションスイッチを OFF にします。

車両がロックされている場合、ハザードランプおよびサイドマーカーが 2 回点滅し、その後約 3 秒間点灯して、設定が反映されていることが通知されます。

リモートエンジン始動は、以下の場合に作動します。

- マニュアルトランスミッション車またはセミオートマチックトランスミッション車の場合、レバーがニュートラル位置にある、
- オートマチックトランスミッション車の場合は、レバーが P にある、



- イグニッションスイッチをオフにしたとき。
- 車両を離れたときに、すべての開口部（ボンネット、ドア、トランク）が閉じておりロックされている。

注：車両を離れてリモートエンジン始動を作動させる場合は、マルチメディアシステムをオフにする必要があります。

「2時間ごとに 起こす」

この機能により、エンジン温度に応じて、2 時間ごとに車両を自動的に始動させることができます。

この機能を作動させるには、「オン」ボタン 5 を押します。

この機能を有効にすると、換気システムは、最初の 4 回の始動時に作動しません。

極寒条件下では、車両が自動的に始動して、オフになるまで約 10 分間動作します。

再始動が必要なエンジン温度でなければ、車両は最初の 4 回の再始動時に自動的に作動せず、2 時間待機状態に戻ります。エンジン温度が低すぎる場合は、エンジンが再始動します。すべてのケースで、最後の始動が発生します。

設定時刻のおおよそ 15 分前に、約 10 分間エンジンが始動したまま維持されます。

注：マーカー 6 により、設定済みの車両の作動回数が通知されます。

リモートエンジン始動 (3/3)

車両によっては、車両から離れる前に、ワイパー、ヘッドランプ、ラジオ、シートヒーター、ステアリングホイールヒーターなどの電装品を非作動にし、すべてのアクセサリの接続を外してください。

極端な条件下では、設定によるリモート始動が作動しません。



枯れ葉や草、紙屑など燃えやすいものの近くで停車したままエンジンを作動し続けしないでください。高温となっている排気システムのコンポーネントに、これらのものが接触して火災になる恐れがあります。



駐車・停車時のドライバーの責任

お子様、ひとりで動けない成人、ペットを車内に残して、たとえ短い時間でも絶対にお車から離れないでください。エンジンの始動、パワー ウィンドウなどの装備の作動、ドアのロックなどにより危険が生じたり、他の人々を危険に巻き込む恐れがあります。また、暑く晴れた日には、車内の温度は急上昇します。死亡または重傷のおそれがあります。

2時間ごとに 起こす機能装備車両の特記事項。

この機能を設定するたびに、少なくとも 10 分間車両を走行させてください。エンジンオイルの摩損の危険性。



次の場合に、エンジンリモート始動機能またはエンジン始動設定を使用しないでください。

- ガレージ内または閉鎖された場所に車両がある場合。

排気ガスにより、中毒または窒息のおそれがあります。

- 車両には、保護カバーが被せてあります。

火災の恐れがあります。

- ボンネットが開いているか、開く前。

火傷や大ケガを負う危険があります。

国によっては、リモート始動機能の使用またはその設定は、適用される法規や規制によって禁止されることがあります。

この機能を使用する前に、国で適用される法規や規制を確認してください。

後方カメラ(1/3)

作動

リバースギアに入ると（次にギアチェンジしてから約 5 秒間）、ガイド、車両のシルエット、ピープ音と共に車両の後方画像がマルチメディアシステム画面に表示されます。

車両に装備された超音波センサが、車両と障害物との間の距離を「測定」します。

赤の部分に達したら、盾のマークにしたがって、正確に停車してください。

注：

- パーキングアシストの使用法の詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。
- リアビューカメラが遮られていないか点検してください（汚れや泥、雪などの付着）
- リバースギアが締結すると、マルチメディア画面に数秒間、車両後方にシーンのビューが表示されます。



ON/OFF

リアビューカメラ

後方カメラの作動と停止を行うことができます。これには、メインメニューで「地域」、「ディスプレイ」を選択し、「パーキングアシスト」1を押します。



パーキングアシスト

このメニューでは、後方カメラを有効または無効にして「障害物検出」を設定することができます。

後方カメラ(2/3)

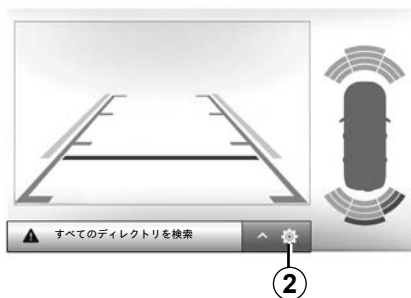


障害物の検出

車両のフロントセンサとリアセンサは、独立して作動させたり無効にしたりできます。「オン」を押して希望するセンサを作動させるか、または「オフ」を押してこのセンサを解除します。

サウンド設定

オーディオ警告を有効または無効にしたり、複数の音から選択したり、障害物センサの音量を調整することができます。

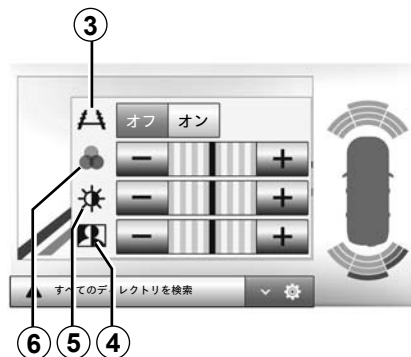


画面調整

2 ボタンを使用して、ディスプレイの設定にアクセスできます。

このメニューでは、車両の後方の距離を示す 3 ガイドを有効または無効にして、画面の設定を調整することができます。

「+」または「-」を押してコントラスト 4 を調節します。輝度を調節するには 5 を、色を調節するには 6 を押します。



安全のために、この操作は必ず停止時に行ってください。

イメージは、逆歯車がかみ合っている場合にのみ調整できます。



この機能は補助的機能です。したがって運転される時は、お客さまの責任において慎重に運転しなければならないことを忘れないでください。

ドライバーは常に集中して細心の注意を払って運転してください: 車両の付近に子供、動物、ベビーカー、自転車、石、柱などがいないことを確認します。

スクリーン上には、反転した映像が映ります。

ガバリは、平坦な地面の上に投影された映像であり、地上にある物体を無視し、ガバリがその上に重なった状態で映し出されます。

スクリーン上に、物体がゆがめられた状態で映ることがあります。

光度が強すぎる場合（雪、車両に直射日光が当たっているなど）、カメラの視覚が妨害されることがあります。

マルチビューカメラ (1/2)

はじめに

車両には、フロントドア、サイドドアミラー、リアに 4 台のカメラが取り付けられており、操縦が困難な場合に追加の支援を提供します。

注：カメラが（汚れ、泥、雪などで）ふさがれていないか確認してください。



この機能は補助的機能です。したがって運転されるときは、お客さまの責任において慎重に運転しなければならないことを忘れないでください。

ドライバーは常に集中して細心の注意を払って運転してください。子供、動物、自転車、ベビーカーなどがいないことを確認し、石、釘などにも注意してください。

作動

後退ギヤが係合されると、リアビューカメラは、マルチメディアスクリーン上の車両の後部領域を表示します。

手動モードに変更することで、マルチメディア画面に表示するビューを選択することもできます。

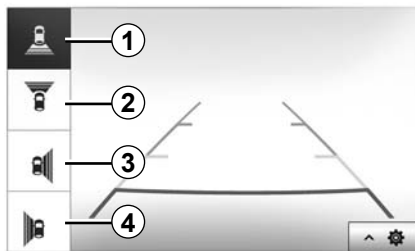
ON/OFF

車速が約 20 km/h 以下になるとシステムが自動的に起動します。車両がこの速度を超えると、システムは停止します。

システムは、車両のアクティベーションボタンを押すことによっても起動することができます。詳細については、取扱説明書の「マルチビューカメラ」のセクションを参照してください。

注：自動モードまたは手動モードの選択の詳細については、取扱説明書を参照してください。

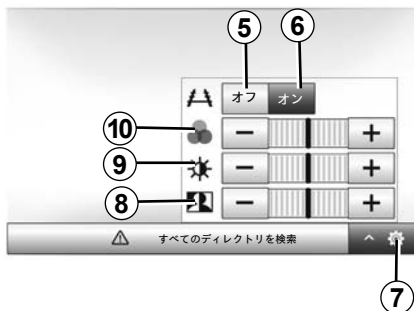
マルチビューカメラ (2/2)



カメラの選択

目的のカメラビューをアクティブにするには、マルチメディア画面でこれを選択します。

- 1 リアビュー
- 2 フロントビュー
- 3 右側ビュー
- 4 左側ビュー。



調節

7 を押して設定リストを表示します。
5または6. を押せば、ガイドを表示させたり非表示にできます。

「+」または「-」を押してコントラスト 8 を調節します。輝度を調節するには 9 を、色を調節するには 10 を押します。

システム調整 (1/3)



ようこそ画面からマルチメディアシステム設定にアクセスするには、「設定」を押してから、画面の一番下にあるセクションを選択します。

音を調整する

「音声の調整」の章を参照してください。

画面調整

「輝度」

スクリーンの輝度を好みに調整できます。次の 3 つのモードを選択できます。

- 「低」、
- 「Mid.」（スタンダード）、
- 「高」。

「マップ モード」

昼間と夜のナビゲーション画面の視認性を高めるために地図の配色を変えることができます。

- 「オート」：GPS が地図を表示します。照明に応じて自動的に昼モードとよるモードに切り替わります。
- 「昼間」：地図画面は、常に明るい色で表示されます。
- 「夜間」：地図画面は、常に暗い色で表示されます。

「AC情報」

設定を変更する際に、この機能を使用してエアコン情報の表示を作動/解除することができます。

「背景」

この機能で、暗い色と明るい色のモードを選択できます。

「パーキングアシスト」

この機能では、後方カメラとフロント/リアセンサを作動させたり無効にしたりできます。

Bluetooth^(R) の調整

「Bluetooth^(R) のデバイスのペアリング/ペアリングの解除」の章を参照して下さい。

システム調整 (2/3)



システムの調整

「言語」

この機能で、システムや音声ガイダンスで使用される言語を変更することができます。

言語を変更するには、希望する言語を選択してから「OK」を押して確定します。

「時計」

この機能を使用して、時刻の表示を設定します（12 時間または 24 時間）。

注： ナビゲーション付きのバージョンでは、国の地図がインストールされている場合に、GPS によって時刻が自動的に設定されます。 ナビゲーションなしのバージョンでは、時間は手動でのみ設定できます。

時刻を手作業で変更するには、「時計/単位」を押してから、「時間設定」を選択します。

「Units」

この機能で、マルチメディアシステムに表示する距離の単位を設定します。

「km」か「mils」を選択できます。

注： マルチメディアシステムの設定は、車両のインストルメントパネルの表示に影響しません。 インストルメントパネルの表示設定の詳細については、車両の取扱説明書を参照してください。

「工場出荷時の設定」

この機能を使うと、各種設定をデフォルトに初期化することができます。

- すべて： すべての「工場出荷時の設定」の設定をデフォルトに調整します。
- 電話： 電話に関連する全ての設定をリセットします。
- ナビゲーション： ナビゲーションに関連する全ての設定をリセットします。
- オーディオ/メディア/ラジオ： オーディオ/メディア/ラジオに関連する全ての設定をリセットします。

「ナビゲーション」

この機能を使用すると、システムナビゲーションを作動させたり解除したりできます。

「システムバージョン」

この機能でシステムのバージョンを管理します。

システム調整 (3/3)

セキュリティコード

オーディオシステムは、セキュリティコードによって保護されています（指定代理店が提供）。これは、電源をオフにしたときに（バッテリーの切断、システムの切断、ヒューズの切断など）電氣的にオーディオシステムをロックするものです。

オーディオシステムを作動させるには、4桁のセキュリティコードを入力する必要があります。

コードをメモして、安全な場所に保管してください。紛失した場合は、メーカーの代理店に問い合わせください。

コードの入力

メッセージ: CODE に続いて、空白のスペースと数字キーパッドが表示されます。

デジタルキーパッドを使用して適切な番号を入力し、「OK」を押して確認します。

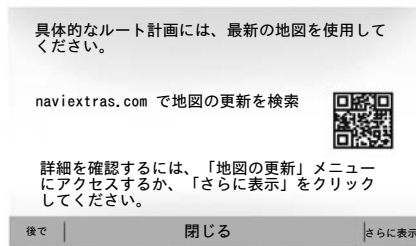
不正なコードの入力

入力されたコードが正しくない場合は、メッセージ「PINが正しくありません。システムはロックされています。」が表示されます。

1 分間待ってからコードを再入力してください。

コードの入力を間違えるたびに、コードの再入力までに必要な時間が 2 倍になります。

カードとシステム更新 (1/5)



地図アップデートの保証

新車納入後、最大90日間マップのアップデートを無料で行えます。この期間以降は、アップデートは有料です。

ナビゲーションの起動時に、マルチメディアシステムによって地図の更新が提案されます。このリマインダーは1年に2回、7年間表示されます。次のようなことができます：

- 「後で」を選択すると、ナビゲーションの次回起動時にリマインダーが表示されます。



- 「閉じる」を選択すると、リマインダーが表示されなくなります。
- 「さらに表示」を選択すると、「Map Update」メニューが表示されます。

マルチメディアシステムと地図を更新します。

注： 不必要に手順を開始しないように、システムがすでに最新の状態であるかどうかを点検します。

マルチメディアシステムと地図を更新するには、コンピュータをインターネットに接続するための USB フラッシュドライブが必要です。

お使いのコントロールユニットを使用して、インターネットから USB フラッシュドライブに更新をダウンロードし、車両のマルチメディアシステムの USB フラッシュドライブから更新をインストールします。

マルチメディアシステムソフトウェアが最新でない場合、Toolbox ソフトウェアは地図を更新する前にシステムの更新を提供します。システムと地図を同時に更新することはできません。更新ごとにプロセスを繰り返す必要があります。

次の手順を実行する必要があります。

- システムを USB フラッシュドライブに保存します。
- スマートフォンに Toolbox ソフトウェアをインストールします。
- Toolbox から USB フラッシュドライブに製品をダウンロードします。
- USB フラッシュドライブからマルチメディアシステムまたは地図を更新します。

以下の手順に従ってください。

カードとシステム更新 (2/5)

システム内容をUSBキーへ登録

お使いのマルチメディアシステムをユーザープロフィールに登録する場合は、最初に、何も記録していない USB キーをマルチメディアシステムに接続して、識別キーを作成します。

注意：

- マルチメディアシステムに USB フラッシュドライブを挿入するには、「ナビゲーションシステム」項の、「USB フラッシュドライブの挿入」を参照してください。
- USB フラッシュドライブは、システムには含まれていません。
- 注：使用する USB フラッシュドライブは、FAT32 形式でフォーマットされ、8 GB および 32 GB の最大容量が必要になります。
- システムデータをUSBフラッシュドライブに保存するには、車両を始動し、データの読み込み中にエンジンを停止させないでください。
- 処理中は、いかなる操作も行わないでください。

要約

10:52



システムスナップショットをUSBフラッシュドライブに保存するには、次のことを行う必要があります。

- マルチメディアシステムの USB ソケットに USB フラッシュドライブを挿入します。
- メインメニューから 「ナビゲーション」 メニューを選択します。
- オプションメニューを選択します。

「オプション」メニューの 2 番目のページから、「Map Update」メニューを選択します。

画面の一番下にある「オプション」ボタンを押します。

マルチメディアシステム画面で「更新」機能を選択します。

これでお使いのナビゲーションシステムの識別キーが USB キーにインストールされたので、あなたのプロフィールにお使いのシステムを Toolbox に従って保存したり、Toolbox でお使いのナビゲーションシステムで使用可能なアップデートができます。

データの記録が終了したら USB キーをマルチメディアシステムから取り外すことができます。

エンジンの作動中は、システムの更新を実行する必要があります。電気自動車が充電されているか、エンジンが作動している (READY 警告灯が点灯)。

カードとシステム更新 (3/5)

スマートフォンに Toolbox ソフトウェアをインストールします。

コンピュータを数回クリックして Naviextras Toolbox をインストールします。 Toolbox アプリケーションは、以下のメーカーのウェブサイトからダウンロードできます：

ウェブサイトにアクセスし、画面上部の「ようこそゲストユーザー」エリアにある「登録」をクリックします。アカウントを作成して保存したら、要求された情報（車両モデル、オンボードマルチメディアシステムなど）を入力して、ソフトウェアをダウンロードします。

ソフトウェアをダウンロードしたら、インストールを開始します。

画面に表示される指示に従ってください。

このマニュアル上の画面は、契約ではありません。



Toolbox から USB キーへの製品のダウンロード

Toolbox に接続する

Naviextras Toolbox ソフトウェアを実行して、コンピュータがインターネットに接続されていることを確認します。

コンピュータで Toolbox を起動するときに、マルチメディアシステムのスナップショットを含む USB フラッシュドライブを挿入します。ソフトウェアが USB フラッシュドライブを認識したら、ログインと登録の 2 つのオプションが用意されています。

Naviextras.com のウェブサイトに登録していない場合は、Toolbox からログインページにあるボタンをクリックすれば簡単に登録できます。画面に表示される指示に従ってください。

お使いのサブスクリプションで許可される場合で、Toolbox でお使いのシステムがサポートリスト内に見つければ、ようこそ画面が表示されて Naviextras アカウントに接続できるようになります。

Naviextras Toolbox アカウントに接続し、USB フラッシュドライブをお使いのコンピュータに接続すると、Toolbox 画面左側のメニューバーにある Catalogue メニューから、マルチメディアシステムにインストールしたい無料または有料のアプリ、サービス、コンテンツを選択して取得できます。

一部の国では、警告地域をダウンロードして使用することが違法なので罪になる可能性があります。

カードとシステム更新 (4/5)

Toolbox から USB キーへのアップデート

Toolbox 画面左側のメニューバーにある「更新」メニューまたは「コンテンツ購入」をクリックしてください。

アップデートメニューは、次の全ての利用可能なアップデートを画面上に表示します：

- 購入済みですがまだインストールしていないアイテム（更新プログラムもしくは追加分）；
- カタログからインストールファイルに追加した更新と無料の追加プログラム。
- システムアップデート（最新バージョンが利用可能ならば）；
- P01 電気自動車の更新（充電ステーションなど）
- 特別無料の更新プログラム。

全ての利用可能な更新プログラムは、地域別にリストと地域別に表示されません。

デフォルトでは、全ての地域の全ての項目が、インストール用に選択されます。一時的にある地域を省略したい場合は、リストの行の先頭のチェックマークを外します。表の確認後、インストールを開始するには画面下部に位置するインストールボタンをクリックしてください。

Toolbox が選択した更新プログラムのダウンロードを開始し、インストールを行います。操作の終了を知らせるメッセージを受信するまでしばらくお待ちください。

注：アプリのダウンロード時間は、アプリケーションのサイズおよびモバイルネットワークの受信品質によって異なります。

選択した項目がマルチメディアシステムの最大容量を越えた場合は、Toolbox が警告します。この場合、記憶領域の制限に合わせて、システム内でインストールするか削除する項目を選択できません。

項目をシステムから削除しても所有権は保持されますので、後で無料でインストールすることも可能です。

アップデート中、USB キーをシステムから抜いたり、無効にしたりしないでください。



一部の国では、レーダー探知機オプションをダウンロードして使用する事が違法なので罪になる可能性があります。

カードとシステム更新 (5/5)

システムとマップのアップデート

インストールプロセスが終了したら USB キーをコンピュータから取り外します。車両のマルチメディアシステムの USB ポートに、USB キーを接続して下さい。

注：

- マップを更新するには、エンジンを始動し、データのロード中はエンジンを停止しないでください。マルチメディアシステムが使用中のとき、自動的に USB キーで利用可能な更新プログラムを検出し、USB キーで利用可能な更新プログラムの日付に応じて、システムやマップに加えるよう提案します。更新のインストール中はマルチメディアシステムの電源をオフにしないでください。
- 新しいバージョンが存在する場合は、システムのアップデートをダウンロードしてインストールすることだけ可能です。
- マルチメディアシステムによって提供される機能は、車両のモデルと装備レベルによって異なります。

A



USB フラッシュドライブを接続すると、A 画面が自動的に表示されます。

- 一更新を実行するには 1 を押します。
- 一前の画面に戻るには、2 を押してください。

1 ボタンを押すと、更新手順が起動されます。システムのアップデート中は、いかなる操作も行わないでください。

アップデートが完了すると、マルチメディアシステムは、すべて最新の機能で再起動します。

ライセンス

この製品の GPL、LGPL、MPL、およびその他のオープンソースライセンスソースコードを取得するには、専用のウェブサイトを参照してください。ソースコードやライセンスのすべての条項の他に、保証の除外および copyright の詳細をダウンロードできます。

また、専用サイトでは、電子メールによる要求に応じて、配布コストをカバーするために、CD-ROMのオープンソースコードを実費（メディア、発送、処理コストなど）で提供しています。この提供は、製品のご購入日から 3 年間有効です。

マルチメディアシステムは、自動的にアップデートの途中で再起動する場合があります。ラジオ画面が表示されるまでお待ちください。

アップデートが途中で終了した場合は、最初から手順を繰り返します。

作動不良 (1/5)

不具合	システム	
	原因	解決法
画像が全く表示されない。	画面がアイドル状態です。	画面がアイドル状態でないか確認。
	システムが停止しています：	車内の温度が低すぎるまたは高すぎます。
	車両をオフにします。	車両を再始動します。
音が出ない。	音量が最小かミュートが有効になっている。	音量を上げるかミュートが無効にします。
	選択したシステムソースが正しくない。	選択したシステムソースをチェックして、出力ソースがマルチメディアシステムであることを確認します。
左、右、前方、後方のスピーカーから音が出ない。	balanceまたは fader の設定が正しくない。	balanceまたは fader を正しく調整してください。
表示時刻が正しくない。	時刻設定が「自動」に設定されており、システムが GPS 信号を受信していません。	「ナビゲーション」あり：GPS を受信できるまで、車両を走行させます。
		「ナビゲーション」なし：時刻を設定するには、「システム設定」の項を参照してください。
ナビゲーションシステムが正常に起動しない、または応答を停止する。	使用中にマルチメディアシステムがフリーズしている。	「オン/オフ」 ボタンを押し続けて、マルチメディアシステムを再起動します（画面がオフになるまで）。

作動不良 (2/5)

ナビゲーション		
不具合	原因	解決法
音が出ない。	メニュー「ナビ」の音量がミュートまたは最小が有効になっています。	(メニュー「ナビ」の音量「オプション」を上げる) またはミュートを無効にします。 GPSモードの音量は、音声ガイダンス時に調整することができます。
画面上の車の位置と実際の車の位置が一致していない。	GPS受信が原因で、間違った位置が測定されています。	GPS信号を良好に受信できるところまで車を移動させてください。
	地図のバージョンが古くなっています。	地図を更新してください。
画面上に提示される情報が、実際とは異なっています。	システムのバージョンが古くなっています。	最新版のシステムを入手してください。
メニュー項目の一部が使用できません。	使用中のコマンドに関する一部の項目が使用できません。	
音声ガイドが使用できない。	ナビゲーションシステムが交差点を認識しない。 音声ガイドがオフになっています。	音量を上げて下さい。 音声ガイドがオンになっているか確認して下さい。
音声ガイドが実際と異なっています。	音声ガイドは、環境によって異なる場合があります。	実際の状況に応じて運転してください。
提案ルートが開始されない、もしくは希望目的地で終了しない。	システムが目的地を認識していない。	希望する目的地の近くの道路を入力します。

故障診断 (3/5)

電話		
不具合	原因	解決法
音と呼び出し音が聞こえません。	携帯電話の電源が入っていないかシステムに接続されていません。 音量が最小かミュートが有効になっている。	携帯電話の電源がオンになっているか、システムに接続されていることを確認します。 着信音を大きくするか、ミュート機能を無効にします。 選択したシステムソースをチェックして、出力ソースがマルチメディアシステムであることを確認します。
電話をかけられません。	携帯電話の電源が入っていないかシステムに接続されていません。 電話のキーパッドがロックされています。	携帯電話の電源がオンになっているか、システムに接続されていることを確認します。 電話のキーパッドのロックを解除してください。
	作業中にいくつかの音源が排出されます。	オン / オフボタンを押し続けて、マルチメディアシステムを再起動します (画面がオフになるまで)。
Bluetooth のペアリングプロセス。	電話機能が部分的または完全にナビゲーションシステムと互換性がない。	互換性のある機器のリストの詳細については、指定の代理店にお問い合わせください。

故障診断 (4/5)

メディア		
不具合	原因	解決法
音が出ない。	音量が最小かミュートが有効になっている。	音量を上げるかミュートを無効にします。
	オーディオソースがオンになっていないか、システムに接続されていません。	選択したシステムソースをチェックして、出力ソースがマルチメディアシステムであることを確認します。
外部音源 (MP3 プレーヤ、ポータブルオーディオプレーヤ、USB キー、電話など) がマルチメディアシステムによって認識されない。	作業中にいくつかの音源が排出されません。	オン / オフボタンを押し続けて、マルチメディアシステムを再起動します (画面がオフになるまで)。
Android Auto™/CarPlay™マルチメディアシステムが始動しない。	Android Auto™/CarPlay™ スマートフォンで正しく設定されていません。	設定情報については、スマートフォンのメーカーのウェブサイトを参照してください。
	USB ケーブルは、データ転送と互換性がありません。	アプリケーションの正常な機能については、電話メーカーが推奨する USB ケーブルを使用します。
	オーディオソースは、操作中にマルチメディアシステムによって認識されなくなりました。	オン / オフボタンを押し続けて、マルチメディアシステムを再起動します (画面がオフになるまで)。
オーディオ音源の動作不良 (音声認識が SIRI/CarPlay™/Android Auto™、MP3 プレーヤ、ポータブルオーディオプレーヤ、電話などに対応していない)。		

作動不良 (5/5)

メディア		
不具合	原因	解決法
Android Auto™/CarPlay™ 動作不良。	スマートフォンは、Android Auto™/CarPlay™ アプリケーションの更新後に互換性がなくなりました。	以前のバージョンにダウングレードするか、Android Auto™/CarPlay™ スマートフォンブランドの設定を参照してください。
Geo 追跡アプリケーションの動作不良。	ネットワークが使用できない。 電話で Geo 追跡が有効になっていません。	信号受信が強い場所を検索します。 電話の Geo 追跡を有効にします。

索引 (1/3)

3	
3D/2D モード	J. 42
4	
4x4 情報	J. 5, J. 56
A	
Android Auto™、CarPlay™	J. 66 → J. 69
AUX	
補助プラグ	J. 5
AUX	J. 25 → J. 27
B	
Bluetooth 接続	J. 61
Bluetooth®	J. 57 → J. 61, J. 70
G	
GPS	
レシーバ、スレーブシリンダ	J. 32, J. 53
レシーバー	J. 32
M	
MP3	J. 25
P	
POI	J. 35 → J. 41, J. 48
R	
RDS	J. 5
U	
USB	
USB ポート	J. 32
USB	J. 32, J. 85 → J. 89
USB キー	J. 30 - J. 31, J. 85 → J. 89
USB プラグ	J. 5, J. 13, J. 25 → J. 27, J. 30 - J. 31, J. 85 → J. 89
W	
WMA	J. 25
ア	
アーティスト	J. 26
アドレスを入力する	J. 36
アドレス帳	J. 39, J. 49 - J. 50

オ	
オーディオの調整	
サウンド設定	J. 13 → J. 15
お	
お気に入り	
削除	J. 50
追加	J. 41
カ	
カード	
デジタルカード	J. 32
ラダー	J. 33
表示	J. 13 → J. 15, J. 33, J. 48
調整	J. 48, J. 51
ガ	
ガイダンス	
カード	J. 42 → J. 47
作動状態	J. 42
音声	J. 13 → J. 15, J. 42 → J. 47
コ	
コールする	J. 70 - J. 71
コール履歴	J. 71
シ	
システム	
アップデート	J. 85 → J. 89
ジ	
ジャック	J. 13, J. 25 → J. 27
ス	
スイッチ類	J. 8 → J. 15, J. 18
ステアリングスイッチとパネル	J. 8 → J. 15
ステアリング下スイッチ	J. 21
ステップ	J. 46
セ	
セキュリティコード	J. 84

索引 (2/3)

- ソ
ソース
オーディオ J.13 → J.15
- デ
ディスプレイ
スタンバイ J.13, J.16
ナビゲーションディスプレイ J.42 → J.47
ナビゲーションの表示 J.7, J.42 → J.47
調整 J.48
- テ
テンキー J.19
- ナ
ナビゲーションの設定
ルートの設定 J.40 - J.41
- パ
パス J.28
パラメータ J.47
- バ
バランス J.28
- ビ
ビデオ J.30 - J.31
- マ
マニュアルモード J.21
マルチビューカメラ J.5, J.80 - J.81
- メ
メディア J.13 → J.15
メニュー J.13
メモモード J.22
- ラ
ラジオ J.5, J.13 → J.15, J.21 → J.24
ラジオ局 J.21 → J.24
ラジオ局をメモリーする J.22
- リ
リアビューカメラ
パラメータ J.82
リアビューカメラ J.5, J.77 → J.79
リストモード J.22
リモートエンジンスターター J.5 → J.7, J.74 → J.76
- ル
ルート詳細 J.41, J.44, J.47
- 一
一覧 J.70
- 交
交通情報 J.5 → J.7, J.23, J.41, J.54
- 仕
仕向地 J.36 → J.41, J.46, J.49 - J.50
- 低
低音 J.29
- 作
作動 J.16
作動異常 J.16, J.90 → J.94
- 使
使用上の注意 J.3
- 停
停止 J.16
- 利
利点 J.34, J.36 → J.41, J.48
- 地
地図シンボル J.33
- 携
携帯オーディオ Bluetooth®
ペアリング J.26
ペアリングの解除 J.26
- 早
早送り J.25

索引 (3/3)

時				左右音量配分	J.29
時間				明るさ	J.82
表示	J.83			調整	J.13 → J.15, J.23, J.52 → J.54, J.82 → J.84
時間	J.83			警	
機				警告音の音量	J.29
機能	J.5 → J.7			距	
燃				距離単位	J.83
燃料の消費	J.55			車	
燃料節約	J.55			車両位置	J.33
特				迂	
特定の目的地				迂回	J.46, J.54
お気に入りの住所	J.39			通	
画				通信音量	J.20
画面				選	
マルチメディア画面	J.8 → J.15			選択する	
メニュー	J.7			トラック	J.27
番				電	
番号をダイヤルする	J.72			電波域	J.21 → J.24
番号入力	J.72			電話	J.6
目				電話のペアリングを解除する	J.60
目的地メニュー	J.36 → J.41			電話をペアリングする	J.57 → J.60
目的地を確定する	J.40 - J.41			電話を切る	J.14, J.62
経				電話を受ける	J.14, J.72
経済的な運転	J.55			電話を接続する	J.61
補				音	
補助入力	J.25 → J.27			音声 OFF	J.20
言				音声スイッチ	J.63 → J.65
言語				音声認識	J.14 - J.15, J.63 → J.65, J.68
変更	J.83			音量	J.13 → J.15, J.20
言語	J.83			音量：速度に適応	J.20, J.28
調				高	
調整				高音	J.28 - J.29
オーディオ	J.28 - J.29, J.82				
リア/フロント音量配分	J.29				

